

條約改正裁

貿易定則改正見込
各港税關上申書

2-1555

0007

貿易定則改正見込各港税關上申書

目次

- ① 横濱税關
- ② 神戸税關
- ③ 長崎税關
- ④ 新潟税關
- ⑤ 函館税關

大藏省

十年十月十五日受
第一七三号

第千貳百七拾四号

貿易定則及税目中改正見込之儀ニ付

上申

横濱税算

條約改正市参考、爲、現行、交易規則及税目中
施行ニ於テ從來ノ紛穢障害又者爾後弊害可
相生哉ノ利害得失ヲ審按ニ加添訂正之見込取調
往復ヲ除キ二十日中ニ可申出云々書例相添第一〇九
号却達之趣致承知候因テ當関検査課以下各主任
ノ者ニ命ニ夫々爲取調候処別紙之通申出候最モ
右ハ各課所見ヲ異ニ或ハ重複ノ慮モ有忍隨テ穩當
ナラサル儀モ可旨之候得共却参考ノ爲、其俣差
進候儀ニ依之別冊相添此段及上申 矣也

大藏省

十年十月十三日

横濱税関長本野盛亨

関税局長吉原重俊殿

貿易定則

輸出入税目

中各課意見書

横濱税關

大藏省

2-1555

0011

検査課見込

平川武柄奉

輸入税目

第三

銅ボタン

百四十四
即十二分銀
一分銀〇二二

Brass Buttons.

右銅ノ文字ハ青銅ノ二字ニ相改メタシ何レトナレ
ハ税目中金類第[四拾四]ニ於テモ *Brass* ハ青銅ト對
譯セラレタル類例之レアル而已ナラズ是迄實際銅
ボタンハ無之皆青銅ボタンニ有之候

五

第十一

木綿織物類

大藏省

Cotton manufactures.

巾四拾六インチ以上ナヤールト二百一分銀〇二二五
右未文中以上ノ二字ヲ自餘三項ノ類例ニ倣ヒ巾鏡
イニチ迄 (六十) 見込ナリト相改メタシ如何ニトナレ
ハ如此草ニ四十六インチ以上ト而已示セルヲ以テ
其中八九拾乃至百インチ有餘ノ物品ニシテ然モ且
ツ夫ノ臥床用布ノ如キ普通ノ金巾類トハ品位モ格
段相異ナリタル高價ノ物ト雖モ是迄同一ノ稅格ヲ
徴収シ来リ甚タ不條理ニ付以後ハ右臥床用布ノ如
キハ從價稅ニ加テ度被存候

五

第十八

木綿ヨリ糸同片ヨリ糸 白紫添色

但巻裏ノ有熟ニ拘ラス

Cotton thread, plain or dyed 百斤二百一分銀七介五

右ハ改メテ從價税ニ致度見込ナレ止ムナクハ

斤量ヲ以テ徵收スル例ヲ更テ以後其負數幾個ダダツ

千銀ヲ收ムル本位ヲ立テ、定額若干ヲ計テ課税スルノ

方ニ相定メタシ何ントナレハ凡ソヨリ茶ニシテ軸

ニ巻タルカ又ハ球形ニ装シタル物ハ交易止ニ於テ

必ス負數ヲ以テ取引致シ斤量ノ賣買ハ無之由ナリ

且ツ本文和譯ニ巻裏ノ有熟ニ拘ラスト掲示セルニ

付是迄ハ所謂風袋グルミノ斤量ヲ以テ課税シ来ル

ト雖モ篤ト本文横文字ノ意味ヲ勘考スルニ軸ニ仕

立タルモ又球形ニ装シタルモ同一様ノ税ヲ課スル

トハ品柄ノ性質上ニ付テ論シ言フモノニシテ決シ

大藏省

テ量目ノ事ニ関係シタル義ニハ無之様ニ被存候

五

第三十八

革

百斤二百一分銀二介

Leather

右革類ノ種實ハ種類甚夥シク從テ其價格ニ甲乙要

泥ノ差異アリ今茲ニ本文革ノ内ヨリ左ノ三種類

聖多默革 魯斯亞革 磨用革 ヲハ定額中ヨリ區

別シ更ニ從價税ノ部ニ相加ヘタキ見込何ントナレ

バ右ニ列スル三種類ハ通常ノ熟皮本革ト當ニ價

格ノ異ナル而已ナラズ且ツ是迄イニボイス上ニ於

テモ多分斤量ノ記載ハ無之却テ革ノ枚數若干ダツ

ニラ掲ケ来ル所ヲ以テ参考スレハ貿易上必スダツ

全

ニ乃至其丈幅ヲ以テ價格ヲ立ツル物品ト被存候

第三十九

麻布類

十ヤールトニ廿一分銀〇二

linen, all qualities

是亦幅「イ」ト定限無之ガ為ニ不都合少カラス仍
 之自今巾幾「イ」迄ノ文字ヲ相加ヘタキ見込四十
ハニ有之候見何トナレバ従来幅尺ニ定度ナキガ為
 ニ夫ノ机卓ニ覆フ綾織麻布ニシテ其幅百イニテ以
 上ニ至ル物ト雖モ及物ニ相成居ル分ハ矢張同一ノ
 収税ヲナサ、ルヲ得ヌ如何ニモ遺憾ナリ尤モ如此
 綾織麻布モ切レ々々ニ相成居ル分ハ是迄従價稅ヲ
 課シ来リ候慣行ニ有之候

大藏省

鑑定課見込

近田友次郎奉

輸入税目

第十一

本綿織物類

Cotton manufactures

本綿織物ノ内窓拭ニ用ユルモノアリ而シテ窓拭ハ
回ヨリ従價品ナルハ本綿織物ノ部中ニ窓拭用ヲ除
クト加文アリタシ

全

第五十四

蠟引形付鋪物

地ニシクモノ

十ヤールト三寸

一分銀。三

Oil cloth for flooring

大藏省

第五十五

蠟引似革鋪物

家具ニ用ユルモノ

一分銀。一五

Oil cloth or leather cloth for furniture

右ノ税額十ヤールニ付税若干ト記載ナル耳ニテハ
巾ノ廣狹ニ関ラズ一様ノ税額ト見做サハルヲ得ズ
然レ氏該品ハ賣買上ニ於テ一ヤールト云フ巾ハ常
ニ平方一ヤールヲ以テス是以テ課税上ニ於テモ亦
平方ヤールヲ以テセサレハ不都合ノ慮アルベシ故
ニ右二類ノ敷物ノ平方一ヤールニ付税〇。〇三及〇。
〇一五ト改正アリタシ

全

第六十九

石鹼 掉ナリタルモノ

Soap, bar.

化粧用石鹼ニテモ俵掉ニナリタルモノアリ又洗濯
用ニテ掉ニナラザルモノモアリ故ニ掉ニナリタル
モノ并ニ洗濯用ニ供スルモノト記載アリタシ

大藏省

2-1555

0016

收税課見込

澳地利條約定則

第一則中

澳地利及洪鳴利船日本ノ港ニ着シテ後(西洋)四十八時
中日曜日ヲ除ク(其他ノ休日ヲ除ク)甲比丹或ハ船司ヨ
リ云々

若シ右告示中相違ノ慮ヲ心付タル時(西洋)二十四時日
曜日ヲ除ク(其他ノ休日ヲ除ク)中ハ之ヲ書キ改ムル共
云々

右入港手数ヲ怠ル日毎ニ墨斯哥銀六十枚ノ罰金ヲ拂
フベシ

此ヶ条中ニモ日曜日其他ノ休日ヲ除クトノ明文有

大藏省

リタシ

本文ハ我國祭日祝日アル故ヲ以テノ儀ナリ且西洋
ノ二字ハ除キテ可ナラニカ

第四則中

船中用意品ノ為メニ入津スル鯨魚船或ハ云々

本文鯨魚船ハ只入出港ノ手数ヲ為スヘシトノ明文
ヲ追加アリタシ

第八則中

此条中噸税云々ノ慮アリテ納主彼我ノ別判然ナラ
ス依テ賣主ヨリ納ムベキトノ明文アリタシ

第二則中

阿片ヲ輸入スルハ禁制ナレハ云々 且阿片ヲ密商
シ又ハ密商セント謀リシ阿片ノ高一斤毎ニ墨斯哥銀

拾五枚ノ罰金ヲ拂フヘシ

本文昨九年十一月神戸税関伺ノ申指令ニ而ハ警ハ
ハ一斤トニ分ノ一ノ数ノ如キハ罰部ニ箇トシ罰金
三十弗ヲ取立ツベシトアリ然ル上ハ今回更ニ明文
ヲ改正アリタキ

輸出税目録中

第二種無税品

金銀銅

日本産ニシテ貨幣ニ
造リタルモノ

本又新銅貨申發行ノ上ハ輸出申放禁可然カ隨テ曰
銅貨ノ如キモ價格定リタル上ハ同一ナラント思想
シ今茲ニ掲ク

大藏省

交易定則第六則中

但シ次ニ定メタル謝銀ハ運上所官吏ニ差出スベシ

一船ノ入港手数ニ付 墨斯哥銀拾五元

一船ノ出港手数ニ付 墨斯哥銀七元

横文ニ而ハ如何アラニヤ此条而已本文ノ如キ時
ハ恐ラクハ官吏ノ受ル所ノ如ク聞エルナラニカ
因テ官吏ノ二字取消タシ

輸入税則之部

第十八 木綿ヨリ糸同片ヨリ糸 百斤ニ付 一分銀七ヶ五

白糸深色 但巻真ノ有無ニ拘ムラス

本文ノ但書ニテハ巻真有ル品物ト雖モ其真ト共ニ



皆掛ケニテ収税スヘク様ニモ聞ヘ一ツニハ卷真有
ル品ニテモ又卷真無キ品ニテモ同一ノ定額ナリト
示セシ如クニモ聞工此後至當ナリト思ワル併シ屢
從來ノ慣行ニ因テ参考セハ屢
々紛議ヲ生ス依テ卷真無キ品又ハ卷真アル品共真
ハ斤量ノ内ニ加フヘシト改メテ可ナラシカ

第二十一 翡翠孔雀毛類 百斤ニ付全一ケ五

本文百斤ハ百数又百本ノ書損ナラニ改ムヘキ分

第二十五 硝子板 四箱ナフト全〇三五

近來種々ノ品物輸入ニ多ク此部ニ籠リ収税ス夫々
區分アリタシ又百フトトニ斤、ト定額ヲ改メタ
キ

大藏省

第三十二 犀角 百斤ニ付全三ケ五

本文百斤ハ一斤ノ誤リナラニ改メテ可ナリ

第三十八 革 百斤ニ付全二ケ

本文薄手ニシテ紅色青色ニ染タルモノアリ別ニ定
額ヲ定メタシ

漆革 百斤ニ付、

第四十一 アシペラ敷物 一卷ニ付全〇七五

本文一卷ヲ取消シ四十ヤルトニ斤或ハ百ヤルトニ
斤、ト改メテ可ナラシカ

金類	第四十二 銅及青銅	百斤ニ百全三ケ五
	青銅ト云フハ我國於テ鑄ト稱ルモノヲ云ヤ一ツニハ此税目中真鍮ノ誤リナリトモ聞ケリ近來真鍮ナルモノ多ク輸入ス此部ニ掲ケ度ナ	
全	第四十三 熟鍍	百斤ニ百全〇三
	本文中鉄板ナルモノ籠レリ此一種ハ別ニ定額ヲ分ケタキナ	
	鍍板	百斤ニ百、
五	第五十三 鍍葉	重サ九十斤全〇七
	近來九十斤入内外ノモノ間々輸入セリ譬ハ八十斤入ノ箱ニテモ九十斤入ノ箱ニテモ同額九十一斤以上ナレハ從價税ニ引附ルモ酷ナラニカ是又九十斤ニ百又ハ百斤ニ百ト改メタシ	
	第六十 藤	百斤ニ百全〇四五
	近來割藤ナルモノ最モ多シ本文ノ分ハ丸藤ナラニ因テ右ヲ區分シ	
	丸藤	百斤ニ百、
	割藤	全
	但シ四ツ割以上ハ從價税トス	
七織物類	第七十六 大羅紗 小巾羅紗	ハヒツトコロツ
	中等羅紗	

大藏省

右中三十四イニテ送十ヤルト三番 全〇六
以下畧ス

本文ノ部ニテ納税セル者尽ク上等ノ品ニシテ輸入
モ多カラズ近來輸入セルモノハ多ク毛綿交織羅紗
ナリ是レ八十三号ノ部ニ籠リテ〇四五ノ額ヲ以テ
納税ス然ルニ毛綿交ト雖モ其上等ニ至テハ一目有
綿無綿ノ區分ヲカタクキ者アリ今回幸ニ之ヲ一ト
廉ニ掲ケタシ

毛綿交織羅紗

巾何イニチヨリ何イニチ送
十ヤルト三番

第二種無税品

食料又ハ荷物運送ニ用ユル諸獸類

諸字ノ下ニ鳥字ヲ脱スルカ

本文鳥獸ノ如キハ漸クニ牛馬豚羊駝駝鷄鷺白鷺鷄

大藏省

ホヲ云ヒシナラニカ其他鳥獸之中食用ヲ唱フル片
ハ無税食用ニ供セザル片ハ有税トナリテ判然定リ
カタシ因テ支々名ヲ記シタキ

塩漬ノ食料樽ニ入レタルモノ

本文之ハ第四種酒類酒精食料諸類ノ部ニ籠メ從
價税ト為シタキ

外國之衣裳

但此運上目録中ニ載セザル品ニ限ルベシ

本文之ハ全ク其身ノ着用スル分而已ニシテ其他
商用ニ供スル者ハ悉ク從價税取至當ナラントス
且商人ニ付衣類ハ何枚帽子足袋合羽其他ノモノ何
程ト制限ヲ定メタキ見込

輸田税則之部

第七 石炭

百斤ニ百一分銀〇〇四

本文蒸氣船ハ何程多量ヲ積入ルトモ無税ヲ以テシ
帆前船ハ聊ノ斤量タリモ有税ヲ以テス今更ニ蒸氣
ハ其噸數或ハ仕向ケ先キノ遠近ニヨリ何噸迄ハ船
用無税其餘ハ有税ト定メタシ且帆前船ニ至ツテハ
従前ニ而可ナラズカ

第二十四 書物用紙

百斤ニ百全三ケ

本文ノ分ハ美濃紙半紙駿河半紙ホラ云フナルベシ
奉書雁皮紙程村檀紙ホノ別判然タラス依テ巨細品
名ヲ記シタキ見込

大藏省

第三十七 生糸 第三十八 玉糸

第三十九 熨斗糸 第四十 真綿

第四十三 屑糸 第四十七 茶

右六種ハ明治二年四月中ノ改正ニ随テ記スヘキ分

第四十八 番茶 長崎ヨリ輸出スルモノニ限ルベシ

本文ノ註除クベキ

第四種

竹器諸類

銅器諸類

漆器諸類

磁器諸類

右二種加入アリタミ

片寄知義奉

輸出税目之部

第四 茯苓

百斤ニ斤一分銀。七五

平年之賣買元價低下ニ付定税ニ見合セテ差異アリ
依テ减税。四五見込ヲ茲ニ記載ス

第十一 錫

百斤ニ付全一ケ。五。

各地ヨリ出産現品良否アリテ價ノ差異不少依テ平
年之平均價ヲ見積リ増税一ケ五見込ヲ記載ス

大藏省

第二十七 牡丹皮

百斤ニ百全三ケ七五

平年ノ賣買元價低下ニ付定税ニ見合セテ差異アリ
依テ减税ニケ九ノ見込ヲ記載ス

第三十一 板昆布

百斤ニ百全。三

北地各所海中ノ出産物ニシテ其繁茂時下凡烈ニヨ
リ凶アリ日和ニシテ豊年アリ平年九出品元價ヲ見
積リ増税。三五ノ見込ヲ記ス又刻昆布ハ茲ニ只人
エヲ重経ノミ製造人ノ幸ナリ依テ定税ノ見込ヲ除
ク

第三十七	生糸光ヨリ糸	百斤三番	全七十五ヶ	(九十一ヶ位)
第三十八	玉糸	全	全二十ヶ	(十八ヶ位)
第三十九	熨斗糸	全	全七ヶ五	(十三ヶ位)
第四十	真綿	全	全二十ヶ	(二十二ヶ位)
第四十一	壳蛹	全	全七ヶ	(八ヶ位)
第四十二	蛹	全	全十二ヶ	(十八ヶ位)
第四十三	屑糸并屑蛹	全	全二ヶ二五	
大 藏 省				
	屑糸ハ	全	全四ヶ位	
	屑蛹ハ	全	全二ヶ位	
第四十七	茶	全	全三ヶ五	(五ヶ位)
第四十八	番茶	全	全〇七五	(一ヶ八位)

三十七号生糸ノ廉ヨリ四十三号迄并茶ノ部ニケ茶
 之分平年ノ賣買元價自考凡平均見込ヲ算スル廉朱
 唇増減税ヲ記ス又玉糸近來輸出ナシ然レ臣生糸ニ
 比較スレハ大ニ下リタル品位ナリ元價ニモ随テ差
 異アリ故ニ見込朱書ノ如ク屑糸并屑蛹トアルヲニ
 ケ茶ニ分チ是モ價ヒニ差異アリ依テ豫メ増税ノケ
 茶ヲ見込ニ記載スルアリ

2-1555

0024

第五十一 葉煙草

百斤ニ百 全〇七五
(ニヶ五位)

第五十二 製シタル烟草

全一ヶ五
(六ヶ五位)

此ニヶ条ハ近來平年ノ元價ニ見合セ定稅トニ大ナル差異アリ由テ凡見込ミ朱唇ヲ記載スルナリ

第三種禁制品

銅貨幣ニ造リタルモノ

此ヶ条ヲ茲ニ追加アリタシ

大藏省

米 初小麥 大麥 及其粉

硝石

右物品ノ内米小麥大麥及其粉ハ先般輸出禁制即解放無稅相成ル上ハ第二種無稅品ノ部ヘ掲載追加アリタシ尤内國中都合ニヨリ輸出差止メルトノ云々モ記載置度事ナリ又初ハ禁制品ナレハ第三種ノ部ニ据置ルベシ

硝石

右ハ先般輸出禁制即解放相成リ從價五分稅徵収ニ輸出ニ付第四種ノ部ニ追加アリタシ又内國中都合ニヨリ賣買并ニ輸出ヲ差止メルトノ云々モ記載ニ置タキナリ

輸入税則之部

木綿織物類及更紗類

第十一 生金巾其外十三品染色アル物ホ

甲巾三十四インチ迄十ヤールト五分一銀。〇七五

(〇一八三)

乙巾四十インチ迄

全。〇八七五

(〇一三八)

丙巾四十六インチ迄

全。〇一

(〇一七七)

丁巾四十六インチ以上

全。〇二二五

(〇一七七)

右ノ部類ニ佛蘭西製ノドルリスニ巾七十インチナ

大藏省

ル物アリ故ニ巾四十インチ以上五十インチ迄ト

定限ニテ其分ハ從價タラシキ事カ或ハ定額ノ部

分相當ヲ増加アラシキ事又從前定税ノ廉毛凡見込朱

各ヲ記載スルナリ

第二十五 硝子板

一箱 十フット
四方入

全。〇三五

(〇六一七七)

右白色無紋ノ物ニ限ルベシ其分ニ種々色付或ハ模様形付ノ分ハ從價五分税徴収スルノ明文追加アラシキ事見込ムナリ又現品ニ精粗大ナリ由テ品類記載ニガタシ

第三十二 犀角

百斤二百金三ヶ五

(百九七六六)

右ハ従来此定額税ハ算勘上位差異アリテ普通賣買
元價ノ割ニ比較シカタク一斤ニツキテノ誤カト見
做シ改ニ九元價ノ五分ヲ見積リ茲ニケ數ヲ朱書ニ
頭ハス由テ宜ク目監アラジヲ記スナリ

第三十八 革

百斤二百金二ヶ

(八ヶ九二)

右ハ革ト云フ通稱ノモノ分ハ生地色ナメシノ類ニ
テ定税徴収シタルベシ其品位ニテモ従前定税ニテ
ハ普通賣買元價ニ當リガタクニ百九見込税額ヲ朱
書記載ス又染色革アリテモ定税徴収ス由テ染色或

大藏省

ハ模様付ホアル革類ハ普通賣買ハ枚數ヲ以テスト
云フヲ傳承セリ故ニ従價五分税徴収可然哉ト見込
ムニ付茲ニ記載スルナリ

第四十一 アニペラ鋪物

一卷二百金〇七五

右ハ品位精粗アリ又四十ヤールトアルモノヲ見タ
ルモノ少シ改ニ従價徴収スルカ或ハ巾ヨリ五十五
トニテ長十ヤールトニ定限ニ定税〇二五ヲ極メ徴
収ノ明文ニ改正シタキ見込ナリ
但令茲ニ記載セル物ハ粗品位ノ分ト做ス故ニイ
ナ外ニ良品ノ外モアリ由テ従價品ト極メタキナ
ナリ

第五十三 糖業

重九十斤 全〇七

右ハ品位良否アリ随テ元價ニ大ナル差異アリ志箱
斤量七十斤余ヨリ八十二三斤入ル或ハ百斤以上ア
ルモノアリ納稅ニ至リ九十斤内ノモノハ定稅徵收
シ九十斤ヨリ以上ハ元價五分稅徵收ノコトニ至リテ
ハ稅論生シ自然各人不满ヲ生ス故ニ志箱ノ斤量ニ
不抱正味百斤ニ定稅(一ヶ四五)ヲ極メ納稅徵收ノ
允見込ヲ茲ニ記載スルナリ

第七十一 赤黒砂糖

百斤ニ百 全〇四

右ハ二ヶ条ニ分テ黒ハ定稅(〇四)赤ハ(〇六)ヲ極メ納
稅徵收アリタキ見込ニナリ

大藏省

第七十二 白砂糖

百斤ニ百 全〇七五

右ハ白ノ一名稱ニテハ品位元價ニ大ヒナル高下
差異不少故ニ上等白砂糖定稅(一ヶ〇八)中等白砂糖
(〇八)階級ヲ極メ納稅徵收アリタキ見込ナリ

第七十三 氷砂糖

百斤ニ百 全一ヶ

(一ヶ五八八)

第七十四 棒砂糖

全一ヶ

(二ヶ三)

右砂糖ノ部類ニ赤黒ト白ノミニテ時々赤白ノ論ヲ
免スルアリ實地殆ント患フルヲアリ砂糖和蘭バタ
ビヤノ地ヲ第一トシテ商方ス由テ砂糖比較シテ價
ヲ極メ且米利堅ナドトバタヒヤノ砂糖ヲ標目ナシ

以テ税位ヲ極ムルト云フ傳承セリ然レテ今茲ニ見
込ラ記ヌハ平年普通賣買元價ヲ比較シ黒赤ヲ分チ
定稅朱唇ノ如ク極ム白ニ至リテハ九部類多シ故ニ
豫メ上中二等級ヲ分チ稅位朱唇ヲ以テ記ヌ又氷棒
砂糖ニ至リテモ價位定稅比較差異アリ依テ稅額ヲ
改メ納稅徵收アラシムヲ見込ムナリ

第七十七 是班牙製縞耳羅紗

十ヤト音 全〇七五

右縞耳羅紗ハ中等ノ品位ト見做シ巾六十イニチヨ
リ七十イニチ以上ノ物アリト傳承セリ由テ定稅徵
收ニテハ大ニ不適當ナリ故ニ允賣買上ヲ比較スレ
バ^{四十ケ}以上^{以上}位ニ^斤増稅ノ方ナリ也巾ニ等ヲ分チ幾イ
ニテ^{四ケ}定稅^{云々}ト改正アラシムヲ見込ム然レモ牙

木藏省

七十六号「プロトコロ」ヨリ三ヶ条ノ羅紗類或
ハ其他ノ毛織リ物毛綿交織物ホエ比較スルキハ大
ニ高稅ニ當レリ依テ只稅位差異アル處ヲ頭ハス為
ニ茲ニ云々ヲ記載スルナリ

第一三〇三号

本閣印用掛渡邊收太ヨリ税目中改正見込
書差出候義ニ付上申

横濱税関

條約改正申参考之為ノ貿易定則及税目中訂正之見込取調
可申出云々第一一。九号申達ニ依テ過ル十三日第千二百
七十三号附平川武柄以下主任官吏ノ見込書進呈以テ候
處尚又頃日鑑定課負渡邊收太別紙見込書差出候右ハ固ト
繁勢之間隔ヲ以テ相調候義ニ有之候間斯ノ遅延ニ及候得
共折角差出候ニ百其終申参考ニ供ヘ候尤這ハ一体ヲ概論
セシモノニ有之候條尚ホ本議ニ基キ一々物品ニ就キテ税
額加添見込為取調可然候ハ、其旨申指令有之度係シ繁勢
之餘暇ニ着手候様ニテハ申シ容易ニ整了致間敷存候間其
上申候也

大藏省

十年十月廿五日

横濱税関長本野盛亨

軍稅局長吉原重俊殿

十年十月廿六日受
第一七八号

現今各港稅關ニ實行スル所ノ輸出入物品ノ稅目ニ於テ實際失當不都合ノ事情モアラハ巨細可申上音却違ノ趣ニ府精考候處乃チ定額稅目中ニ於テ其品價ト稅額トノ比例ヲ失スルモノ往々是アリ依テ左ニ二三ノ的例ヲ擧ケテ以テ聊カ後來稅目改正ノ一資ニ供ス

第一 現今ノ定額稅ハ物品ノ時價ト大ニ抵括スル事

例一ハ鋼上等品百斤ニ付今日ノ時價大九拾六圓位ナレハ假ニ之ヲ從價五分稅トスルハ乃チ百斤ニ付其稅八拾弍ナリ然ルニ百斤志分銀零六ノ定額稅ニテハ拾九錢八重ニシテ之ヲ從價稅ニ較算スルハ則チ其歩合一分二重四毛ニ當レリ又「キナエ」ノ如キモノ一

大藏省

ニ付時價大抵四拾三圓位ナレハ時價昂依アリ一付ニ付現今ハ拾六圓位ナリ同ク之ヲ從價五分稅トスルハ一付ニ付其稅二圓十五弍ナリ然ルニ志分銀一ヶ五ノ定額稅ニテハ總ニ五拾弍ニシテ之ヲ從價稅ニ較算スルハ其歩合一分一重五毛ニ當レリ是其歩合遙ニ減スルモノナリ而テ錦針金ノ如キハ大ニ之ニ反セリ其故ハ下等品百斤時價大九二圓五拾弍位ナリ假ニ之ヲ從價五分稅トスルハ拾弍弍五重ナリ然ルニ百斤ニ付志分銀零八ノ定額稅ニテハ乃チ二拾六弍ニシテ之ヲ從價稅ニ較算スルトキハ其歩合殆ント一割ノ多キニ上ラントス是其歩合遙ニ増シテ即チ現今ノ定額稅ハ物品ノ時價ト大ニ抵括スルモノナリ

第二 同稅額ニシテ價格大ニ差異アル物品ノ事

例へハ華百斤ニ付ニ拾六圓ヨリ三百三拾二圓位定額
 竹壹分 卷菘壹斤ニ付壹圓ニ拾弐ヨリ拾五圓位定額
 銀ニ分 羅紗壹碼ニ百六拾弐ヨリ五圓位定額
 分銀 零羅紗壹碼ニ百六拾弐ヨリ五圓位定額
 二五 生金巾壹碼ニ百五拾弐位定額
 五ニ 生金巾壹碼ニ百五拾弐位定額
 「ゴツト」レクウルテ「ク」壹碼ニ百七拾弐ヨリ壹圓位定額
 右ニ記スル諸品ノ如キ其税「一」ニシテ其物價甚々差等アリ

第三 量度ヲ明ニ記載セサル物品ノ事

例へハ錢葉ノ如キ一箱九拾斤ニ過キサレハ壹分銀零
 七「ゴツト」レサテ「子」ト等四拾「イ」ニチニ過サレハ十碼
 壹分銀零ニナリ而テ右ノ定限量度ヲ越エルモノハ慣
 行ニ於テ悉ク之ヲ從價トナセリ意ヲニ元米同品ニシ

大藏省

テ只量度ノ少多ニ依リ從價トナシ或ハ定額トナスモ
 ノ抑モ其根由スル所ヲ審ニセスト雖モ今日ヨリ之ヲ
 觀レハ甚々其當ノ得サルモノニ似タリ

第四 砂糖ノ税額區分ノ強キ事

例へハ白百斤ニ付時價八圓位赤七圓位ナリ二種ノ價
 格其差等アル甚々少ナリ而テ現行ノ定額税ヲ觀レハ
 白百斤ニ付壹分銀零七五赤黒ハ同零四ナリ何ソ差等
 ノ甚キヤ是亦ダ今日ニ於テ宜ク考覈ヒサル可カラサ
 ルモノナリ

右ニ掲ルモノ、外現今實地施行ノ定額税ヲ觀ルニ其品價
 ト税額トノ比例ヲ失スルモノ累多ニシテ且其歩合後價五
 分以上ニ當ルモノ終ニ二三品アル耳此ニ由テ之ヲ考フル
 ニ允輸入物品ノ税額ヲ區別スルヤ先ツ前後輸入品ノ多寡

及ヒ其品位價格等ヲ熟視シ盡ク實地ノ經驗ヲ歷テ而テ後
チ輸入ノ數大ニモテ稅額ヲ明瞭ニ區別シ易キモノヲ採テ
概子之ヲ定額稅ノ部分ニ加ヘ其餘ハ成ヘク從價稅ニ改加
セシムルニ於テハ常ニ漏稅ノ憂少キ而已ナラス從テ稅關
檢査上ノ手數モ自ラ減省スルモノアラヒカ

鑒定課

渡邊牧太奉

大藏省

元第廿八号

第一一〇号付ヲ以條約改正参考ノタメ現行ノ交易定則
及税目中施行上利害得失訂正之見込ヲ以別帛書例ニ倣ヒ
差出云々御達之趣領承即別紙ニ括呈進致候也

神阪税関長

十年
十月十六日

長岡義之

関税局長吉原重俊殿

大藏省

輸入品運送船ノ大小ヲ限ル事

新設

外國ヨリ貨物ヲ日本國へ輸入スル船舶ハ必ス五十噸以上ヲ以テスヘシ

従来貨物ヲ輸入スル船舶ニ大小ノ制限ナケレトモ内外人交際相熟セハ言語ヲ互ニ通曉シ且船舶往來頻數ニ及フニ随ヒ奸者ノ互ニ相黨與シ密商脱税ノ事起ルハ勢不得已モノナルニ小船扁艇ニテ貨物ヲ輸入スルヲ許レ置カハ假設ハ僻地ノ津口ニ立寄り或ハ島嶼ニ就容易ニ其船形ヲ匿クシ陰ニ其蒸詎ヲ為スヲ得且之ヲ發覺スルニ難ムノ弊ヲ生出スルニ至ルヘシ依テ預メ之ヲ防クニハ船舶ノ大小ヲ限ルヲアリタシ

大藏省

入港届ケ之事

澳地利貿易定則 澳地利及洪噶利船日本ノ港ニ着シテ後其
 第一則第一款 澳地利ノ開港時ニ於テ甲比丹或
 ハ船司ヨリ日本運上所ノ官吏ニ澳地利・洪噶利コシユル
 館ニ請取書ヲ見スヘシ石ハ都テ船中ノ書類積荷目録ヲ澳
 地利兼洪噶利コンシユル館ハ預ケタル旨ヲ示セル者ナリ其
 上谷甲比丹或ハ船司ヨリ書付ヲ差出シ其船ノ入港手教ヲ
 為スヘシ尤国領事或ハ其代理人駐在セサル港ニ於テハ其
 港ノ税関長各領事館ニ代リ都テ船中ノ書類ヲ預ルヘシ
 四十八時ノ起算点明文ナキニヨリ怠期ノ際之ルカ为メ
 紛論ヲ生スルナキニ非ス又領事不在国ノ商船入港ノ
 片ハ船中ノ書類税関ニ相預リ置ト雖モ慣例ニ依リ取扱
 ノミナレハ旁朱書ノ通班然加入アリタシ

大藏省

積荷目録之事

澳地利貿易定則 右書付ト共ニ甲比丹或ハ船司其船積ノ告
第一則第一款 書ヲモ預ケヘシ是ハ書式ノ如ク包貨ノ記号及ビ記号
番号並ニ其品物ノ種類斤数ヲ其送状ニ認メアル通りニ記
載シ荷物引受人ノ名ヲ記シタル者ナリ且船中用意品ノ目
録モ右告各ヘ加フヘシ但甲比丹或ハ船司右告各ハ其船ノ
積荷及ビ船中用意品ノ無相違各付ナルコトヲ証シ税関ニ
於テ其任ヲ有セル者ノ面前ニ於テ誓ノ上其名ヲ自記スヘ
シ
積荷目録ハ船司随意ニ作ルヲ以テ其各法一定セス然テ税
関ハ差出ス届書及ビ願各ハ区々ナラサル様朱各ノ如ク一
定ノ各式ヲ設ケラレタレ亦詐偽ナラサルコトヲ証スル都テ

大藏省

ノ各類ハ本入税関へ出テ誓ノ上之ヲ証セシメタレ然ルハ
ハ假令其事故造ノ所業ニ非サルモ誓ニ對シテノ罰料ハ免
カル、ヲ得サレハ自カラ粗漏誤謬ノ弊モ止ムニ至ルヘシ
澳地利条約 第一則第二款 若右告各中相違ノ廉ヲ心付タルトキ西洋ニ
十四時(日曜ヲ除ク)中ハ之ヲ各改ムル共罰金ヲ拂フニ及ハ
ス然リト雖モ此期限後ニ之ヲ各改ムルカ或ハ之ニ各入ス
ルニ於テハ墨斯哥銀拾五枚ヲ拂フヘシ
本文ハ船主ニ對シ積荷目録ノ各落ヲ拒ツノミニテ積荷
目録ヲ偽ルノ責ヲ負擔セシムノ具ニアラス是ヲ以テ船
主貨主ト押レ事成レハ其利ヲ得成ラサレハ之ヲ過誤ト
ナシ各改メ謝料拾五弗ヲ出セハ事済トナルコトヲ豫メ目
算シ蒸ヲ謀ルコト甚易シ而シテ若シ税関ニ於テ其共アル
ヲ確察詰責スルモ船主ニ於テ各改ヲ得ルニハ拾五弗ノ

謝銀アレハ故ラニ之カ各落ヲ为レ以テ此失費ヲ出サシ
ヤト言フ片ハ却テ彼レニ辞柄ヲ假スリ一助トナルノミ
故ニ過誤ニ出ルノ確然タル憑証アルモノハ其謝銀ヲ取
立スレテ各改ルヲ得セシメ故意ニ出ルノ明証アルモノ
ハ相当罰金ヲ課スルノ法ヲ設ケ且右過誤或ハ故造ヲ查
察スル为メ要用ナル各類ノ差出方或ハ質問ヲ望ムヘキ
ノ明状ナキ片ハ船司其望ニ應セサルモ詰責スルノ術ナ
キヲ以テ之ヲモ併セテ朱各ノ通設ケラレタシ

新設

若レ當然ノ届ケラナスベキ積荷アル其目録ヲ差出サス或
ハ故ラニ其目録ニ遺漏ヲナシ或ハ其細目ヲ偽ハル片ハ其
船長ヨリノ罰金ヲ取立ヘシ若レ又船中乗組人ニ属セ
ル或ハ之カ引受ニシテ右目録ニ遺漏セル貨物ハ其現品ヲ

大藏省

設收スベシ然リト雖モ積荷目録相違ノ廉ハ全ク誤謬ヨリ
生セレニテ詐偽ノ故意ニ非サルヲ確認スル片ハ之カ更
正追及追加スルヲ得ヘシ

税関長ヨリ船司若クハ其代理人ニ右積荷ニ係ル各類或
ハ質問ヲ望ムヲアレハ船司若シクハ其代理人ニ於テハ其
各類ヲ出シ或ハ對辨スヘシ若シ各類ノ差出ヲ拒ミ若シ之
ヲ出スモ其中虚妄ナルヲ録シ或ハ全ク詐偽ノモノヲ出
シ若クハ質問ニ對ヘス或ハ之ニ對フルモ其実ヲ以テセサ
ル片ハ其船長若クハ其代理人ヨリ 四以上ノ罰金ヲ取
立ヘシ

澳地利条約 第一則 第三款 告各中ニ漏レタル諸品物ノ为メ運上ノ外別
ニ罰金ヲ拂フヘシ其罰金ノ高ハ其品物ノ運上ト同シ

同則 第二款ノ謝金拾五弗ヲ出セハ各改ヲ得ルノ設ハ船

主責任ノ貨物ニテ目錄ニ掲載スヘキヲ誤テ昏落シタル
 モノニシテ本款ノ漏レタルモノニ二重ノ税ヲ拂フヘキ
 ハ船主ノ責任外即チ貨主ノ自カラ提携シ来リシ商品ヲ
 指スモノナラシ然ラサレハ有レク告昏中ニ漏レ品ニ此
 ノ如キ兩箇ノ款條ヲ設ケアルハキ筈ナレト去其区域判
 然ナラサルヲ以テ船司各落シノ品代價些少ニテ昏改メ
 謝料拾五弗ヲ出スヨリモ寧ロ二重税ヲ拂フ方金額寡ナ
 キ片ハ之カ昏改ヲナサス其貨主ニ依頼シ提携品トシテ
 揚陸ヲ謀ルモノアリ亦貨主ハ目錄外品ニ二重課税ノ法
 アルヲ以テ公然商物ヲ提携シ脱税ノ方一ヲ僥倖スルモ
 ノナキニ非ス支那人ノ如キ其甚シキモノナレハ取締ノ
 為ナラス且紛論ヲ生スル此条款ハ止メ尤ノ未昏ノ通り
 旅客ノ提携品中ニ班然タル商物ヲ蔵スル片ハ之ヲ没收
 スルノ設アリタシ

大 藏 省

新設

旅客ノ包箱中ニ判然タル商物ヲ所蔵スル片ハ之ヲ没收
 スヘシ

官吏乗勤之事

澳地利貿易定期 日本政府ハ其港内ニ入津セシ各船ニ軍艦
第二則第一款
ヲ併リ 運上所官吏ヲ置キ 右官吏ハ碇泊中勝手ニ其船ニ
留監シ船中何レノ部分ニテモ自由ニ出入シ艙口ヲ封固シ
陸揚前諸荷物ニ符牒ヲ記シ或ハ錠ヲ鎖シ其他保衛スルノ
権アルヘシ若シ鎖シタル場所或箱櫃等アリテ其鍵ナキハ
ハ官吏ハ其力ノ及フ丈ケ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ開キ査檢
シ船内ハ隱匿セシ貨物ハ該取スヘシ官吏ニ於テ積荷或ハ
船用品ニ鎖セシ錠固封或ハ押印セシモノ陸揚ヶ前猥リニ
開封シ或ハ取替ヘ若クハ破壊シ又ハ別所ニ運轉スル等ノ
アルハ其船長ヨリ犯セシ毎ニ 罰金ヲ取立ヘシ
乗船官吏唯船中ニ在テ其積卸シノニ監察シ船中何ノ部
分ニモ自由ニ出入スルヲ得ス亦荷物ニ封緘等ヲ施シ
脱荷ヲ豫防スルヲモ得サルハ到底其職掌ヲ充分ニ尽
ス能ハス故ニ朱唇ノ如ク加入アリタシ

大藏省

新設

入港第一ニ乗船スル官吏ニ船司或ハ指揮者ハ積荷目録ノ
字ヲ差出スヘシ其字用意ナキハ騰字ノ為メ乗勤官吏ヨ
リ相當ノ猶豫ヲ與フヘシ若シ之カ差出ラ拒ミ或ハ怠ルハ
罰金ヲ取立ヘシ
管関ニハ諸船ヨリ差出ス積荷目録ヲ騰字シ監吏ヘ附
キセントコロ乗勤監吏ニ於テハ其船ニ積載セル実荷
ノ箇數ヲ概知セサレハ取締モ十分ヲ尽サス然ルニ入
港時ヨリ右目録差出迄之ヲ知ルヲ得サルノミナラス
差出セシ目録ハ艘唇ト照合ノアルヲ以テ直ニ之ヲ

曆字スルノ難ク亦繁雜モ不尠ハ尤件ノ通船司ヨリ其
字本ヲ差出スノ法ヲ設ケアリタシ

大藏省

2-1555

0042

船口封鎖之事

澳地利貿易定期 日没ヨリ日出迄ノ間ハ運上所官吏ヨリ別
第ニ則第ニ款 段ノ免許ナケレハ船ヨリ荷物ヲ卸スヘカラス且船口其外
總テ船中荷物ヲ納レアル場所ノ入口ニハ日没ヨリ日出迄
日本官吏是ニ封印シ或ハ錠ヲ鎖シ或ハ堅ク固封シ置ヘシ
若シ免許ナクシテ日本運上所官吏ノ固封シ置キタル封印
ヲ破リ或ハ取除クアラハ其犯シタル人々犯セシ毎ニ墨
斯哥銀六十枚ノ罰金ヲ拂フヘシ

荷物積卸ノ制止及ヒ船口封鎖ノ推テハ日没ト日出ノ間
ニ限ル如キハ偏ニ平角ヲ指シタルモノニシテ日出後ハ
日曜祀日タリトモ平日ト一錠封印ヲ解キ船卸ヲ許スノ
義ニハ非サヘシ然レモ其明文ナキニヨリ彼我紛論ヲ生

大藏省

シ甚シキハ平日日曜日等ノ別ナク日出後ニ至レハ船司
自ラ許シテ破封スルノ権利アリトシ領事モ亦之ヲ曲ナ
リトセス固ヨリ平日ハ日出ニ及ニテ之ヲ解封セサレハ
其非税関ニアリト雖モ苟モ船司ヲシテ擅ニ之ヲ破ルノ
理アラシメハ其実日出前ニ犯セシモ巧言ヲ以テ日出後
ニ於ルモノトシ罪ヲ監吏乗勤ノ遅キニ帰シ自己ニハ之
ヲ適ル、トテ謀ルノ弊害アリ且太陽ノ出沒ハ日々ニ遅
速ノ異ナルアルヨリ船封閉減ニ於テ論端ヲ發スルノ基
ヲ生スルハ之ニ換ルニ時刻ヲ以テシ左ノ朱唇ノ通増補
取設ケアリタレ

荷物ノ積卸ハ三月一日ヨリ九月三十日迄ハ午前第六時ヨ
リ午後第六時迄十月一日ヨリ二月廿八日迄ハ午前
第七時ヨリ午後第五時迄ノ間ヲ限リトス日曜其他ノ休日

并ニ前記ノ時間後ハ税関長特別ノ許ナケレハ積卸ラナス
ヲ得ヘカラス

艙口其他船中荷物ノ入レアル場所ガ何レノ入口タリトモ
前記積卸ヲ許サ、ル正當時間中ハ税関官吏ニ於テ之ニ封
印ヲ为シ或ハ錠ヲ鎖シ亦ハ固封シ置ヘシ若シ税関官吏ノ
免許ナクシテ之ヲ破リ或ハ取除キアラハ時ノ何ヲ不問
其船司ヨリ犯セシ毎ニ 四ノ罰金ヲ取立ヘシ
前記積卸ヲ許サ、ル正當時間并時ノ何レヲ問ハス税関官
吏ノ免許若クハ立會ナクシテ貨物ヲ積卸スルキハ其船司
ヨリ犯セシ毎ニ 四ノ罰金ヲ取立ヘシ

大藏省

荷物船卸ノ時限ヲ限ル事

新設

輸入ノ貨物ハ元ノ定期内ニ必ス陸揚スヘシ尤其日数ハ該
船入港届ケ日ヨリ起算シ日曜其他休日并荷仕役シカタキ
雨天ヲ除ク

三百噸未満

日数八ケ日

三百噸以上八百噸未満

日数十二ケ日

八百噸以上

日数十五ケ日

右定期ヲ超過シ猶船中ニ残シアル貨物并税関長ハ延期特
許内ニ船卸セサル荷物ハ總テ税関長ノ所管ニ歸シ之ヲ
税関借庫ニ運移スヘシ
税関長ハ右荷物運移ノ上一週日間其地ノ新聞紙ニ掲

大藏省

ケ之ヲ荷主ニ報告スヘシ

新聞報告ノ末日ヨリ六ケ月中ハ外貨物ト同様ノ手續ヲ以
其國領事ノ荷主タルコトヲ証セル貨主ハ引取或ハ入庫ノ願
ヲコトフ得ヘシ

若六ケ月迄モ右荷物ニ付願者モ出サス且運移其他ノ雜費
及庫租ヲモ全納セサルハ税関長ハ之ヲ借庫規則ノ公賣法
ニ基キ賣ルノ上税金ヲ取立ヘシ若又右荷物火災爆發及ヒ
腐敗消散質ノモノナルハ其期限ヲ待テ速ニ前同様ノ賣ル
ヲナスヘシ

従来積荷船卸ニ時間ノ制限ナキトコロ貨主怠慢或ハ其
貨主不分明ニテ出港手数後迄其荷物ヲ逐ニ揚陸セズ其
船ニテ持去ルモノアリ亦庫船ハ轉移セシ貨物ノ如キハ
一ケ年余モ其積積在ノモノアリ右等ハ船主ニ在テハ出

港時日ノ障碍トナリ税関ニ在テハ積荷目録上消却ノ点
 フ邊引スルノ煩アルノミナラス其船出港手数後ハ監吏
 モ之ニ乗勤セサルニ當港ニ仕向ケシ貨物其俵積在シア
 ル片ハ如何様ノ手段ヲ以晚荷ヲ謀ルモ未タ知ルヘカラ
 ス旁取締上ニ差響不斷依テ前朱書ノ通設ケラレタレ將
 又爾後輸出税ヲ免セラレ、片ハ此制限後監吏ノ乗勤ヲ
 要セサルヲ以テ其人員モ減少スルヲ得、然ル片特別
 荷卸ノ延期中之カ为メ乗勤スル監吏ニ對スル至当ノ謝
 金ヲ出タサシムルノ法アルハ固ヨリ言ヲ竣ガルナリ

太 藏 省

2-1555

0046

價值票改定之事

澳地貿易定則 第三則 第二款 差出タル荷物目錄ノ本書ハ運上所ノ官吏ハ差出シ官吏其差出シ各中ニ記シタル品々ヲ調ヘ終ル迄其各ハ官吏ノ手ニ留置ヘシ

從來價值票ハ往々廢造ノ物ト認視スルアリト雖モ其廢造ヲ証スルノ據憑ナキヲ以テ唯之ニ増價ヲ付ス迄ニテ敢テ其罪ヲ問フヲ得ス亦價值票附載セサル片ハ其貨物ノ陸上ケ輸入ヲ許サストノ明文ナキヨリ各港慣習ノ取扱ヲ實際ニ定ムルヲモ難ク依テ方今米利堅ニ行ハル、モノ、如ク我國ヘ向ケ輸出ノ品ハ其仕出場駐劄ノ我領事ノ証印セル價值票ヲ差出サセ且其取扱モ之ニ倣ヘハ從來ノ弊害ヲ除去スルニ至ルヘケ

大藏省

レハ九ノ朱唇ノ通増神取設ケタレ
日本國內用トシテ陸揚ヲ願フ諸貨物ハ有税無税ヲ別クス誠實ノ價值票ヲ差出各ニ添ヘ其港税関長ニ差出スヘシ而シテ右價值票ハ其貨物ノ検査終ル迄ハ之ヲ税関長ノ手ニ留ムヘシ

價值票ハ外國ヨリ日本國ヘ輸入ノ為メ船積セル輸出入者クハ其代理人ニ於テ之ヲ作り名判スヘシ而シテ其價值票ノ貨物輸出心ノ買得セシモノナレハ買入ノ場所日及ヒ實價ヲ記シ又輸出心ノ自ラ製造シ或ハ生産セル品ナレハ製造或ハ生産ノ場家目日及ヒ其時ノ市價ヲ記シ右兩件孰ニ在ルモ其他ニ積入ノ船名仕向場ノ名送り先引請人ノ姓名記号番号箇數品名小譯并輸出ノ為船積セル迄ノ都テノ雜費ヲ代價ハ實地拂渡セシ其地ノ通用

貨幣ヲ以テ其數量度衡ハ其地ノ名稱ヲ以誠實ニ之ヲ
記載スヘシ然テ價值票ハ前記ノ者共ヨリ尤ノ雛形ノ如
ク相異ナレトノ義ヲ誓ヒ且日本國ヘ向ケ荷物船積港ノ
近傍ニアル日本領事副領事若クハ其代理人ノ保証ヲ添
ヘ差出ヘシ此保証ハ價值票ニ裏各ヒルカ或ハ別紙ナレ
ハ一綴ニナレ之ニ封印ヲ押セルモノトス尤日本領事其
代理人不在ナルハ同盟國ノ領事ヨリ保証ヲ受クヘシ
若又其同盟國領事モ不在ナレハ其港在留人信用ヲ受ケ
ヘキ商賈兩名ノ保証ヲ受ケヘシ

買得人若クハ其代理人ヨリ差出スヘキ誓各ノ式

何某タル拙者茲ニ差出ス處ノ價值票申記載ノ貨物ハ
拙者其買得者或ハ所有人或ハ代理人ナルヲヲ証シ且
右貨物買入ノ元價數量雜費買入場所及月日等誠實ニ

太 藏 省

レテ決レテ實際受了外ナル直引返戻稅等ハ差加ヘ無
之且揭示ノ貨幣ト則其品買入ノ為メ仕拂ノ通貨ニシ
テ貨物ハ日本國 港ニ於テ陸揚額ヲナスヘキ見込ニ
有之將タ余人ニ附共スヘキ為メ此價值票ト差違アル
モノハ更ニ所持セサル義ヲ証明ス

右三通ニ調印ス

年月日

製造者或ハ生産者代理人ヨリ可差出誓各ノ式

何某タル拙者茲ニ差出ス處ノ價值票中製造者或ハ生産
人^{ニ因テ認ナルヲヲ証シ}且右貨物市價製造或ハ産出ノ場
所月日數量雜費等誠實ニシテ決レテ實際受了外ナル直
引返戻稅等ハ差加ヘ無之右貨物ハ日本國 港ニ於テ陸
揚額ヲナスノ見込ニ有之將タ余人ニ附共スヘキ為メ此

價值票ト差違アルモノハ更ニ所持不致事ヲ証明ス
右三通ニ調印ス

年 月 日

價值票ハ三通ヲ領事館へ差出スヘシ
尙通ハ差出人之ヲ受ケ他ノ尙通ハ領事ヨリ其陸揚港ノ
税関長ニ送附スルモノトスヘシ

一船ニ積入レ日本國ノ諸港ニ送スルモノ并日本ノ一
港谷船ニテ同輸スルモノ假令一個ノ輸出人ニ属スル品
ト雖ヒ一紙ノ價值票ニ併記スヘカラス必ス谷通ノ價值
票ヲ作り領事ノ保証ヲ受クヘシ

外國貨物ハ日本へ向ク輸出セシ其日ノ時價并日本へ向
ケ輸出スル為メ船積セシ迄ノ都テノ雜費ヲ合セ以テ収
税ノ元價ト定ム故ニ輸出ノ時ヲ隔テ曩ニ買得セラロ

大 藏 省

實トレ或ハ輸出ノ際所有人タルモノ、姓名ヲ表ヘ其他
ノ手段ヲ以テ収税ヲ減セント謀リシモノハ詐偽ヲ以テ
論シ之ヲ覆スヘシ

収税ノ為メ輸入品ノ元價ヲ定ムルニハ先ツ價值票ノ通
貨ヲ價格ニ随テ日本國ノ貨幣ニ交換レ以テ計算スヘシ
價值票ニ領事保証セシ後其貨物ノ仕向先ヲ轉スル等ノ
事故ニ依リ前記領事ヨリ送致スヘキ價直票轉移セシ其
陸揚ノ實地ニ違セサルアレハ右價值票中至當ノ税ヲ納
ムヘキ証トシテ二重ノ税金ヲ假納スルニ於テハ之力陸
揚ヲ許可スヘシ尤價值票寫ヲハケ日迄ニ其領事ヨリ送
達セサレハ先ノ假納ノ税金ハ返サ、ルヘシ
領事保証アル價值票ヲ差出サ、ル都テノ荷物ハ日本國
内用トシテ陸揚スルヲ許サス然リト雖ヒ時情已ヲ得

ルモノアリテ税関長之ヲ認可スルモノニ限り臨機ノ取
 計ヲ為スルヘシ
 貨物陸揚願ノ節領事保証アル價值票一時差支ヘ差出シ
 能ハスト雖モ之ヲ猶豫セハ差出シ得ヘキ場合ニ於テハ
 其仔細ヲ記シ且海外國ヨリ受取リレ價值票ヲ添ヘ税関
 批價ニ依リ二重ノ税金ヲ假納シ六ヶ月以内ニ領事ノ保
 証アル價值票ヲ其港税関長ニ差出スルヲ誓フモノハ許
 可スルヲアルヘシ
 右領事ノ保証アル價值票六ヶ月以内ニ差出シ曩ノ税関
 批價ニ較ヘ價值票ノ價高額ナル片ハ之ニ基キ其税金ヲ
 取立ツヘシ若價值票ノ價税関批價ヨリ低額ナル片ハ價
 値票ニ依ラス税関ニ依ラス税関批價ニ基キ其税ヲ取立
 ヘシ若シ又誓ヒノ期限内ニ領事保証ノ價值票ヲ差出サ
 ズ
 ガル片ハ最前假納ノ税金ハ返サレヘシ
 百圓ノ價ヒニ超過セサル輸入品ハ價值票ヲ差出サズ凡
 税関長其有心故造ナキヲ確認スレハ批價ノ上許可スル
 ヲアルヘシ
 消散質ノ荷物ハ其價ニ関ラス税関長ニ於テ其詐偽ナキ
 トニ確認スレハ批價ノ上許可スルヲアルヘシ
 商物ニ非ス全ク音信贈物ニシテ價ニ百圓ニ超過セサル
 小包箱ハ價值票ヲ要セス批價ノ上許可スヘシ
 右等ノ場合ニ於テハ税関長ハ其荷物ニ属スル各狀勘定
 各及ヒ各類等ヲ其輸入人ニ差出サレムルノ權ヲ有シ且
 其荷物ニ付テ必用ノ件々ハ當人ニ推問スルヲ得ヘシ

大藏省

荷物改品之事

澳地利条約 日本官吏ハ右差出シタル荷物ノ一部或ハ總
差三則第三款 体ヲモ改メ得ヘシ然リト雖モ之ヲ改ムルニ付テ輸入人ハ
其失費ヲ拂フ事ナク又品物ノ損セサル様取扱ヒ改済ノ上
ハ日本人再ヒ其荷物ヲ成ヘキ文ケ其元形ニ包装スヘシ且
之ヲ改ムルニハ不用ノ時日ヲ費ヤサルヘシ

今日実地税関ニハ荷物ヲ舩或ハ其場所ニ就キテ持来ラ
スト虽此明文ニヨレハ然カセサル可カラサル如ク見
ヘ且其包装ヲ元形ニ成スノ明文アルヲ以テ生糸或ハ煙
草等包装堅固ナルモノハ元形ニ復スル困難ナレハ随テ
精密ノ點檢ヲ得サルノ場合アリ故ニ其荷物ハ何レニ在
ルヲ論セス其記号番号ニ依リ之ヲ税関ヘ持来ルヲ貨

大藏省

主ニ命セハ其貨ノ一部或ハ總數トモ貨主ヨリ持来ルヘ
キモノトシ包装ヲ元形ニ成スモ貨主ノ任トセハ煩雜ト
弊害ヲ隆クニ付尤ノ朱唇ノ通増補取設アリタレ
一紙ノ價値票或一紙ノ願唇中ノ改ムヘキ貨物ハ少クトモ
一箇或ハ十箇毎ニ意箇又ハ鑑定要用ト思考スルキハ數箇
時機ニヨリ總數ヲ批價鑿定ノ為メ税関長ノ命ニ從ヒ貨主
或ハ其代理人之ヲ税関ノ其局ヘ持出スベシ此手數ハ如何
様ノ場合ニ於ルモ省畧スルヲ得ス
然リト雖モ粗大ノ貨物ハ埠頭或ハ税関中指示ノ場所ニ於
テ之カ檢査スルヲアルヘシ
荷物ヲ税関ニ持出ス雜用并檢査鑿定ニ付開放セシ包装ヲ
元形ニナシ及ヒ其費用等ハ其貨主ノ自弁ニシテ日本税関
ニ關係スルヲナシ

税関批價改定之事

澳地利条約第条 若シ日本運上所ノ官吏商人ヨリ申立シ價
第ニ三款
ニ付テ異存アルトキハ其商物ニ價ヲ極メ其^社メタル價ニテ
買入ル^トヲ談シ得ヘシ○若シ荷主此價付ニテ承諾セサル
中ハ日本運上所官吏ノ極メタル價ニ從テ其税銀ヲ収ムヘ
シ若シ其價付ニテ承諾スルキハ其談セシ價ヲ少シモ減ス
ル^トナク直チニ荷主ニ拂ブヘシ

元價不當ト認視スルハ税関ニテ之ニ増價ヲ附スルノ
方法ハ稍正理ヲ得タルモノ、如クナレモ實際ニ於テ
ハ敢テ然ラス其一ニノ例ヲ挙ケンニ流動消散貨ノ品
カ或ハ賣レ且ノ純キ物ハ假令其不當ノ價タルヲ確知
スルモ若シ之ヲ買収スルハ賣却ニ困ミ且幾分ノ損失

大藏省

ヲ生スル保^テ難キヲ以テ之ニ増價ヲ附ス能ハス況ヤ
貨主ノ猶ナル已ニ旧幕時代左右ノ手套ヲ其ニ偏宛異
時ニ輸入レ以テ増價ヲ附シ得サラシメン^トアリト聞
ケリ今ヤ如此甚シキ^ト之ナレト雖モ此法則ノ弊ニ乘
レ貨主ノ漏税ヲ謀ルモノナキニ非ス依テ右増價買上
ケノ方法ヲ廢シ批價ハ税関鑑定者專之ヲナシ若シ貨
主其批價ニ服セサルアラハ更ニ税関長ニテ他ノ正直
ナル商賈ヲ備セ之ニ批價ナサレムルヲ以テ終局トセ
ハ税関納税者共兩ナカラ不都合ナキニ至ルハケレハ
尤ノ未^レ各ノ通改定セラレタレ

新設

従價税品或ハ品位ニ基キ定額税ヲ納ムヘキモノ輸入国
内用トシテ陸揚スルニ放テハ其貨物日本國ヘ向ケ輸出

ノ時ノ其仕出国大市場ノ卸賣ノ時價并其輸出ノ為船積
 迄ノ諸雜費等ヲ調査參考レ以テ批價鑑定スヘキモノト
 スヘレ
 輸出品ニ在テハ輸出時ノ其市場ノ時價并其輸出ノ為メ
 船積セレ迄ノ諸雜費等ヲ以テ批價鑑定スルヲ輸入品ニ
 同レ
 税関鑑定者ノ批價鑑定ニヨリ貨主或ハ其代理人納税ヲ
 欲セスレテ再應ノ批價鑑定ヲ乞フニハ必ス二十四時間
 内ニ於テスヘレ此時間ヲ過ルルハ先ノ批價鑑定ニ服セ
 レモノトスヘレ
 若シ貨主或其代理人ヨリ前記ノ時間中ニ再應ノ批價鑑
 定ヲ乞出ルルハ税関ニハ其價值ニ明ニシテ廉潔且關係
 ナキ商人三名ヲ撰ミ税関鑑定人ノ管轄ニ歸セシメ之ニ再
 度ノ批價鑑定ヲナサシムヘレ尤其時日場所ハ前以貨主
 或ハ其代理人ノ報知スヘシ然リト雖モ其撰挙人ノ姓名
 ハ貨主或ハ其代理人ニ更ニ告ケサルヘシ
 貨主或ハ其代理人ハ鑑定ノ席ニ臨ミ該件ニ付費用ノ
 ハ説明スヘシ
 貨主或ハ代理人ハ再度批價鑑定ニ從ヒ納税スヘシ若シ
 右鑑定者ノ批價鑑定各所見異ナルアルハ税関長ノ其
 中價ヲ取り之ヲ決載セシモノニ依リ納税スヘシ之ヲ批
 價鑑定ノ終局トス然レモ何時ニ於テモ價值票或ハ届書
 中記載アル價值ヨリ抵價ヲ以テ納税スルヲナカルヘシ
 右再度ノ鑑定ニ付都テノ雜費ハ貨主或ハ其代理人ヨリ
 弁償スヘキモノトス故ニ右ノ弁償セサル間ハ税関ニ於
 テ其荷物ノ引取船積ハ許ササルヘシ

大 藏 省

價値票ニ市價ヨリ一割以上ノ抵價ヲ掲ケ或ハ届出ル貨物ニ其税ニ二割ヲ増シ取立ヘシ

大藏省

2-1555

0054

輸入損傷品減税之事

澳地利貿易定則 荷主又ハ輸入人其荷物ヲ請取ラサル前輸
入ノ途中ニテ損傷アルヲ見出スハ税関官吏ハ其損傷ノ趣
ヲ知ラセ其職ニシテ廉潔ナル人二人或ハ二人以上ニテ其
價ヲ極メシムヘレ但シ其人々篤ト検査ノ後各包ノ損シ高
ヲ歩割ニ記シ其記号番号ヲ認メ証書ヲ出スベシ云々
輸入損傷品モ税関ニ於テ其歩割ヲ不當トシ貨主之ニ
服セザルハ其貨物税関ニ買収スル法タルニ付前ノ
批價取扱方同様ニ之ヲ改正且其細目モ左ノ朱唇ノ通
設ゲラレタシ

新設

貨主又ハ輸入人其荷物ノ輸入途中ニ於テ損傷アルヲ見出

大藏省

ハ片ハ陸揚後十日ノ間未タ税関ヨリ之カ引取ノ許ヲ受ケ
ル前各包ノ損高ヲ歩割ニ記シ其記号番号ヲ認メタル証書
ヲ以其旨ヲ税関長ニ申出税関長之ヲ是ナリトスルハ減
税ヲ許スヲアルヘレ右ノ場合ニ於テハ批價鑑定ノ法ニ據
リ之ヲ取扱フヘシ
輸入途中トハ其船ノ其荷物ヲ搭載セシレ外国港ヲ出帆セシ
ヨリ日本國中輸入スヘキ其港ニ到着迄ノ航海中ヲ云ナリ
故ニ露湿或ハ枯稿其他ノ事由ニテ生セシ貨物ノ損傷已ニ
航海以前ニ係ルモノハ此中ニ入ルヲ得ヘカラス
損傷物ノ減税ト平均ヲ以テスルヲ得ス且之カ價値ハ輸入
先市場ノ時價ヲ以テ計算シ其本國市場ノ時價ニ拠ルヘカス
ス亦竟賣代價ハ其貨物損傷ノ多寡ヲ認ルノ証トスルヲ得
ヘカラス

輸入途中ノ損傷ヲ以認可スルハ其貨物陸揚届ヲナスヘキ
第一輸入ノ港ニ限り其他ノ港ニ於テスルヲ得ヘカラス

太
藏
省

2-1555

0056

輸入後損傷或ハ減没品免減税ノ事

新設

輸入荷物証各ヲ差出シ税関借庫へ入庫或ハ日本ノ甲港ヨリ乙港へ運搬ノ途中若クハ証各ヲ出サ、ルモ輸入後未タ税関ヨリ引渡ノ許ヲ受ケサル中若シ火災其他非常ノ禍害ニ罹リ悉皆或ハ其部ハ損傷スルアレハ其税ヲ免減スルヲアリト雖モ自然ノ敗壞損傷ハ免減スルヲナシ免減額ヲ申立ルニハ其荷物ノ品目并前記ノ如キ地震火災ニ係リレ場所及ヒ時刻禍災ノ次第且減没損傷ノ事情ヲ本人ヨリ各面ニ認メ之カ証據タル船載証各或ハ受取船長車主ノ禍災報告各等ヲ添誓ヒノ上之ヲ其禍災ニ罹リレ港着クハ貨物第一着港ノ税関長ニ貨物着港後若クハ禍災ニ罹リレ當日ヨリ十日内ニ差出スヘシ減没品ハ全ク日本國內用ニ供セサリレトノ確証ヲ差出ガ、レハ免税スルヲナク將タ損傷貨物ノ減税ハ輸入途中損傷荷物ニ於ルト同様ノ法規ヲ以取扱フヘシ

大藏省

2-1555

0050

荷物引渡之事

渡地利貿易定則 第三則第五款 運上拂済ノ後 其手数全ク終ル片ハ 荷物ヲ 渡スヘキ免状ヲ荷主ヘ渡スヘシ貨物ハ運上所ニ於テ渡ス

ハシ
實際荷物ヲ引渡スニ本船ニ於テ為シ来ラスト虽モ本 款ニ明文アル以上ハ其荷主ヨリ請求スル片ハ然セカ ルヲ得ス右ハ本船ヨリ各所ヘ勝手ニ引取ヲ得ルノ意 ニ聞ヘ脱荷取締上ニ差響トレトセス且運上拂済ノ後 トノミヌリテハ船卸ノ前其願各ニ就キ税金ヲ徴収ス ルノ便ヲ得ル能ハサレハ旁末各ノ通加除アリタシ

大藏省

2-1555

0058

輸入貨物税未納ニテ庫入之事

新設

借庫規則ニ於テ在庫ヲ免サ、ルモノ、外ハ其輸入税ヲ納メスレテ陸揚ノ為貨物ヲ税関借庫ニ入ル、コトヲ得ヘ

入庫ノ貨物ハ其入庫スル時ニ於テ此品ニ納ムヘキ税額ヲ定メ置テ其貨物国内用若クハ運搬輸出ノ為メ出庫スル片之ニ根據スヘキモノトスヘシ

輸入ノ日ヨリ壹ケ年迄其税ヲ納メサル入庫ノ貨物ハ借庫規則公賣ノ法ニ基キ處分ノ上其税金ヲ取立ヘシ

輸入品積返ル片之カ返税ヲ防止スルノ方法ハ税未納ニテ陸揚貯蔵スルヲ得ルノ借庫ヲ設ケルヲ以テ最緊

大藏省

要ナリトス從來此設アリ、雖モ納税ノ期限且貿易定則中班然明示ナキニ付殊ニ此一款ヲ掲記アリタレ

輸出荷物願昏之事

澳地利貿易定則輸出セントスル諸品ハ船中へ輸送スル前
 第三則第五款
 日本運上所ニ差出ヲ為スヘシ其差出日昏面ニシテ(昏式ノ
 如ク)其荷物ヲ輸出スヘキ船名并包貨ノ記号番号(箇數荷物
 ノ品種數量尺度小訖各種ノ價共包裝毎ニ之ヲ詳記シ其價
 ハ現ニ拂ヒシ通貨ヲ以真價及ヒ雜費口錢ヲモ記載スハシ
 而シテ貨主或ハ代理若クハ輸出入ハ右差出昏中ナル貨物
 ノ真價數量及船載迄ノ雜費ハ價値票ノ通り事實相違ナリ
 且價値票ハ真実ノモノニテ曾テ之ノ外ハ之ト異ナルモノ
 ヲ附英レ或ハ附与セサリントノヲ將タ日本ノ租税ヲ減レ
 或ハ欺騙セント取隠レ置モノ之レナキトノヲ税関ニ於
 テ其任ヲ有セル者ノ面前ニ於テ誓ノ上其名ヲ自記スヘシ

大藏省

輸出貨物ノ差出昏ニハ包裝毎ノ品種代價ヲ掲記スル
 ノ明文モナリ且價値票差出ノ設ケモ之ナケレハ漆罫
 銅罫等ノ如キ毎包品種ト代價ヲ異セルモノ價ヲ記セ
 サル一箇ニ就キ其價ノ真否ヲ知ルノ難キハ言フ竝々
 ス去迎其惣箇ヲ検査鑑定スルハ時日ヲ費シ煩勞ノ多
 キヲ以テ實際為レ能ハレヌ依テ差出昏工朱昏ノ通知
 入アリテ猶他ニ其價値票差出ノ一糸ヲ設ケラレナハ
 一箇ニ就キ容易ニ惣數ノ真否ヲ班別スルヲ得童ニ改
 品ノ便ヲ得ルノミナラス貨主ニ於テモ奸詐ヲ謀ルノ
 隙ナキヲ以自カヲ正実ノ申立ヲナスニ至ルヘシ

新設

右差出昏ト同時ニ其貨物ノ價値票ヲ差出スヘシ而シテ
 其價値票ハ税関長ノ所有ニ歸スヘシ

船用品并旅客手荷物ノ事

澳地利貿易定則 船、其乗組又ハ旅客ノ用物或ハ旅客ノ衣服等ハ運上^ル所^ニ差出^ラ為^スニ及^ハス

船用品ハ船ニ依リ多数ヲ積入^ルモアリ且其品ハ無税トレ^テ之ヲ許セ^ハ其船司ヨリ當然ノ差出^ラナサレメ旅客并船中乗組人ノ旅用具ハ必ス税関ノ改^テ受^ケ積卸^レスル^ト花ノ朱唇ノ通設^ケラレタレ

新設

船中ノ用品ヲ積入^ル、其ハ船司或ハ其引受人ヨリ日本税関へ當然ノ差出^ラ為^スヘレ其無税ヲ以許可^スルノ制限ハ税関長権内タルヘレ

旅客并船中乗組人ノ旅用具ハ差出^ラ為^スニ及^ハスト雖

大藏省

モ之ヲ揚卸スル^ル片ハ必ス定メノ波止場へ持越^レ税関官吏ノ改^テ受^クヘレ

旅用具中價五百圓以上ノ品ナ^ラハ当然ノ差出^ラ為^レ且批價ノ為其品ヲ税関其局エ致送^スヘレ

從來旅客ハ時ノ^何ヲ不論定メノ波止場ハ各所トモ昇降勝手ナ^リニ依^リ之カ検査ノ為メ税関後ニテモ常ニ各箇處へ其仕向^ケ為^サ、ル^ヲ得^ス然^ルニ兼^テ稅務ヲ取^ル者ノミ^ヲ右各箇處エ配置^シ能^ハサルノ不都合アレ^ハ後來ハ旅客昇降ノ波止場ハ其内ノ一箇所ニ定メ^テハ常ニ其處ニハ事ニ熟セル者ヲ置^テ得^テ隨^テ其取扱^モ精密一齊ニ歸^スヘレ

飛脚船取扱ノ事

澳地利貿易定期 澳地利及洪噶利ノ蒸氣飛脚船ハ全日ニ入
港ト出港トヲ為シ得ヘシ且日本ニ上陸スル旅客并陸揚ス
ル品々ノ外ハ告書ヲ差出スヲ要セサルヘシ然リト雖ヒ右
蒸氣船ハ何ノ時ニアツテモ 其時々 運上所へ入港并出港
ノ手教ヲナスヘシ 尤特別ニ此手教省略ノ許ヲ請ルハ
國政府ヨリ日本國政府へ兼テ飛脚船タルヲ通報アルモ
ノニ限ルヘシ

本文ニヨレハ飛脚船ハ時ノ何レヲ問ハス入出港ノ
手教ヲナシ得ルモノ、如シ然ルニ方今ニ至ルモ未
タ實際ニ於テ彼ヨリ此特許ヲ請シニモアラサルヲ
以テ考レハ全京訳西意ノ齟齬ナラシカ亦郵便書状
ヲ積サル通常蒸氣船ト雖ヒ或ハ領事館ノ公状ヲ付
批スルノ名義ヲ以其領事ヨリ飛脚船ナリトシ同一
ノ取扱ヲ望ムトアリ不都合不尠ニ付別朱書ノ通改
正追加アリタシ

太 藏 省

軍艦積卸貨物ノ事

新設

軍艦ニ於テ貨物ヲ積卸シ或ハ商船トノ間ニ貨物ヲ轉移セントスルハ前以該艦ノ士官ヨリ書面ヲ以税関ニ通知シ置ヘシ

軍艦ニ於テ積卸ノ貨物或ハ商船トノ間ニ轉移スルノ貨物ハ或ハ之ヲ告ス之ヲ問テ初テ其吏ヲ知ルヲ得ルノ有之取締上不都合ナキニ非サレハ向來ハ右条ノ通取設ケラレタシ

大藏省

偽り告書之事

澳地利条約日本ノ収納ヲ害セシ為メニ偽ノ告書或ハ証各
第五則
工名自記シタル者ハ其犯ス毎ニ墨斯哥銀百ニ拾五枚ノ罰
金ヲ拂フヘシ

罰ノ輕重共ニ人ノ名譽ヲ損シ惡吏ヲ懲シ將來ヲ戒ム
ル一ナレトモ之カ輕重ニ從テ人々之ニ懲ル、ノ厚薄
ナキ能ハサルノ理アリ且罰ナル者ハ善人ノ為メニ設
クル者ニ非スレテ單ニ茲人防禦ノ為メナレハ務テ之
ヲ嚴ニシ罰ニ陷ルノ道ヲ絶ツテニ注目セサルヲ得サ
ルヲ得サルハ論ヲ竣ス然ルニ本文ノ明條ニ從ハハ詐
偽ヲ為セハ百二十五弗ノ罰金ヲ課セラレ、モ其貨物
ニ至テハ輸出物ハ直ニ輸出シ引取物ハ直ニ引取ルヲ

木藏省

得若シ此法ヲ改メ貨物ヲ取押收スルニ相成ハ輸
出物ハ積込ノ期ヲ違ヒ引取物ハ賣却ノ機ヲ失シ其詐
偽者ノ為ニ害アル唯罰金百二十五弗ノ比ナラサルヲ
以テ後日ヲ懲戒スルノ心後テ厚キハ勿論ナリ加之詐
偽ハ多ク商會ノ手代人等中間ニ在リテ之ヲ為スヲ以
テ罰金ナル片ハ其發覺ノ際自己ニ罰金ヲ税関ニ納レ
主人ノ耳ヲ掩フヲ得ントモ貨物没収トナル片ハ直
ニ其奸惡露頭スルニ付殊更ニ此危險ヲ蹈ミ遂ニ一身
ヲ誤ル等ノモノモナカルヘシ然レモ右ハ間接ニ致テ
ノ得失ヲ述ル迄ニテ其主義上ヨリ論スルモ告昏ヲ偽
レハ其偽ルニ拘ル貨物ヲ没収スルハ理ノ當ニテ取テ
苛刺ニ涉ルト云フヘカラス依テ左ノ朱書ノ通設ケテ
レタレ

新設

偽リノ價直票ヲ以テ貨物ノ差出ラナスモノハ貨物没収スヘシ

偽リノ價直票及其他偽リノ昏類ヲ出スモノハ貨物没収スヘシ

故ラニ價直票ニ漏ラセシ貨物ノ入アル包箱ハ没収スヘシ

故ラニ告昏ニ不合ラナスモノハ貨物没収スヘシ

法則ヲ犯シ輸入セシ貨物或ハ官没ニ属スヘキ貨物ヲ受取若クハ買取若クハ隱匿スルキハ其所持人ヨリ三倍ノ税金ヲ取立ヘシ

税納ヲ免レシト貨物ヲ隱匿スルモノハ貨物没収スヘシ

船積引取ノ免状ヲ附映セサル以前ニ貨物ヲ動スモノハ

大藏省

貨物没収スヘシ

税関定メノ場所外ヨリ陸揚ケ船積スル貨物ハ没収スヘシ

陸揚ケ并轉移ノ為メ己ニ荷物ヲ積入シ解ヨリ税関官吏ノ准許ナクシテ他ノ解ニ移スキハ貨物没収スヘシ

入庫人若借庫エ立入偽リテ庫中ノ貨物ヲ携ルキハ其者ヨリ 罰金ヲ取立ヘシ

貨物ノ鑑定ヲ否ムキハ其者ヨリ 罰金取立ヘシ

批價ノ席ニ出頭セス或ハ要スル價直票其他ノ書類ヲ差出サ、ルキハ其者ヨリ罰金取立ヘシ

日本ノ納税ヲ詐欺セシモノハ其貨物ノ税済且引取船積ノ後タリト雖モ五ケ年間ハ之ヲ没収或ハ其罰金ヲ追徴スヘシ尤己ニ現貨存在セサルトキハ之ニ代ルニ其代價

ヲ以テスヘレ

大藏省

2-1555

0055

輸出ノ部

第二

鮑貝

定額

百斤ニ付

三ヶ

是ヲ分テ

鮑貝 天然ノ俣

定額

百斤ニ付

鮑貝 不用部ヲ去リシモノ

全

百斤ニ付

鮑貝 片ニ製セシモノ

従價

鮑貝 近來右ノ三種ニ別テ輸出シ名義ニ関リ紛論ナ
キニ非サレハ朱唇ノ通區別相成タキ見込

第二十四

書物用紙類

定額

百斤ニ付

三ヶ

是ヲ分テ

大藏

半紙

定額

百斤ニ付

西ノ内紙

全

百斤ニ付

薄葉紙

全

百斤ニ付

其他ノ日本紙

従價

輸出ノ品ハ專ラ右ノ三種ニ在リ故ニ之ヲ定額トシ
其他ノ品ヲ従價トスレハ區別ニ難ムヲナケレハ朱
唇ノ通相成タキ見込

第四十七

茶

定額

百斤ニ付

三ヶ五

是ヲ分テ

茶

定額

百斤ニ付

粉葉并莖茶

全

百斤ニ付

粉茶ハ茶ヲ製スル為メニ生スル屑ナレハ代價ハ即

製茶ニ含有シテ粉茶ニハオレトノ口實ヨリ低價ニ
申立ル者アレハ寧ロ中價ニ因リ定額ト相成タキ見
込

第五十

製シタル烟草

定額

百斤ニ付

一ヶ五

是ヲ示テ

巻烟草

定額

百斤ニ付

紙巻烟草

全

百斤ニ付

刺烟草

全

百斤ニ付

右ハ近來種類増加セシニ付之ヲ同一ノ定額ニナス
ハ不當ナキニ非サレハ朱唇ノ通相成タキ見込

第五十二

木蠟

定額

百斤ニ付

一ヶ五

是ヲ示テ

晒木蠟

定額

百斤ニ付

木蠟

全

百斤ニ付

從來慣習ニテ晒生ノ區別ナク同一ノ稅額ニテ取扱
アレトモ朱唇ノ通班然区分相成タキ見込

第五十三

蜜蠟

定額

百斤ニ付

二ヶ五

是ヲ示テ

晒蜜蠟

定額

百斤ニ付

蜜蠟

全

百斤ニ付

断唇木蠟ニ全シ

大藏省

2-1555

0058

輸入税則之部

第十五

手拭

定額

十二ニ付 〇〇五

是ヲ分テ

綿鼻掛

定額

十二ニ付

其他縮製并婦人用ハ 従價

訳語手拭トアリテハ 隱当ナラス 亦縮製トモアリテ
其代價昂低ナキニ非サレハ 綿製ヲ除クノ外ハ 従價
ニ相成タキ見込

第十七

飯臺掛

定額

壹枚ニ付 〇〇六

是ハ白布モノナルヘケレトモ 綿麻両製アリテ 其代

大藏省

價昂低差異アレハ 定額ヲ廢シ 従價ト相成タキ見込

第二十五

硝子板

定額

一箱 四十フット 〇三五

是ヲ分テ

通常硝子板

定額

百フットニ付

色硝子板

全

全

板硝子 カラスト

全

百フット 角ニ付

其他ノ硝子板

従價

唯硝子板トノミアリテ 其區別ナキヲ以テ 往々 紛論
ヲ生スルヲナキニアラサレハ 朱唇ノ通相成タキ見
込

第三十八

菓

定額

百斤ニ付 二ケ

是ヲ介テ	定額	百斤ニ付
皆ノ裏皮 <small>レツル</small>	定額	百斤ニ付
小牛宛 <small>レ皮</small> <small>スカキフ</small>	全	全
佛製漆引小牛宛 <small>レ皮</small> <small>カレフスキリ</small>	全	全
千ヤモイス宛 <small>レ皮</small>	全	十二ニ付
山羊ノ宛 <small>レ皮</small>	全	全
鹿ノ宛 <small>レ皮</small>	全	全
綿羊ノ宛 <small>レ皮</small> <small>各色</small>	全	壹枚ニ付
山羊ノ宛 <small>レ毛皮</small> <small>各色</small>	全	全
山羊ノ宛 <small>レ色皮</small> <small>各色</small>	全	十二ニ付
言訳前ニ同レ		
第三十九	麻布類	定額
是ヲ介テ	定額	十ヤールトニ付。ニ
リニ子ニ	定額	壹ヤール平方ニ付
其他ノ麻織物	従價	
麻布類トアリテハ總テノ其類ノモノハ盡ク其中ニ		
入ルヲ以テ專ラ輸入スルリニ子ニミテ定額トレ		
其他ハ従價ニ相成度且總テ織物ノ中ハ従前小節ニ		
テ掲ケス唯荒メニ取極アリシニ管節ニ至ツテハ日		
本向ノ品ヲ別段ニ製シ輸入スルヲ以テ其中ノ廣狹		
不同有之随テ損益ナキニ非サレハ向來ハ一ヤール		
平方ヲ以テ取極メナハ精密ニ相成宜シカラントノ		
見込		
第四十一	アシヘラ敷物	定額
是ヲ介テ	定額	壹卷ニ付四十ヤールトニ付

大藏省

コ、アット製敷物	定額	壹ナールト平方ニ付
マツチニクトハ強テ支那ノアンベラノミニ限ル訳 ニ無之樹皮草莖ヨリ編ミレ席ノ総称ナレハ朱唇ノ コ、アット製ノモノ、ミラ定額トレ其餘ノ此種ヨリ 成立セルモノハ従價ト相成度見込		
第百四十四		
熟鐵	定額	百斤ニ付 〇三
是ヲ分テ		
棹錢	定額	百斤ニ付
帶錢	全	全
板錢	全	全
釘錢	全	全
製金用延錢板	全	全
大藏省		
熟鐵ハ曩ニ外國公使トノ談判ニ依リ區別モ相立テ 居ルト雖モ猶朱唇ノ通班然相掲ケ度見込		
第百七十一		
赤黒砂糖	定額	百斤ニ付 〇四
第百七十二		
白砂糖	全	〇七五
右兩種ハ其区域班然致兼ルニ付蘭國製砂糖標基ニ 依リ其區別ヲ立テ定額ニ相成度見込		
第百四十四		
烟草類	定額	百斤ニ付 壹ヶ八
是ヲ分テ		
板烟草	定額	百斤ニ付
刺烟草	全	全

其他ノ烟草類 従價

烟草類ハ種類ニ依リ價ノ高下差異アルヲ以テ朱唇ノ
通相成度見込

第八十五

モヘール敷アレーズ兼
レヨルス 定額 壹枚ニ付 〇五

是ヲ分テ

旅用膝蔽ヒトラウエリシク
コダス 定額 壹枚ニ付

アレーズ兼レヨルス 従價

モヘール敷物ニテハ誤義穂當ナラス右定額トル
アレーズ兼レヨルスハ毛縮製ノモノアルニ付其代
價ニ差異アレハ従價ニ致度キ見込

第八十八

形付毛織飯臺掛 定額 壹枚ニ付 〇七五

大藏省

右ハ品物ニ餘程善悪ノ別アレハ随テ代價ニ差アル
ヲ以テ従價ニ致度見込

貿易定則ハ徵稅ノ方法ト其稅ノ遺漏ヲ防クノ具ニシテ其
 要點ハ徵稅者タル我稅關取締ノ為メニ設タルヤ明シ根元
 規則ナルモノハ其大綱ヲ揭ケ一綱ニシテ數目ヲ含蓄シ違
 犯者アル毎ニ類ヲ推シ以テ其法ニ當ツルキハ事ニ煩擾ナ
 ヲ物ニ滯滞ナク頗ル處置ニ便ナレハ豫而簡明ナルヲ要ス
 ハキハ言ヲ強ス然レモ裁判ノ權為メニ法ヲ設グル者ノ手
 ニ在ラサルニ其大綱ヲ以テ其細目ヲ含蓄セシムル様設置
 了ハ難シ假令我ニ在ツテ為シ得シモノトスルモ遵法者ハ
 種々ノ絆柄ヲ構ヘ到底彼我ノ辨論着落ナク遂ニ遁路ヲ得
 セシムルニ至ル故ニ貿易定則猶將來モ條約ニ附屬相成ル
 譯ナラ是ニハ唯其大綱ノミヲ掲ケ其余ノ細目ハ我政府ニ
 於テ隨意ニ適宜之方法ヲ設クルヲ得ルノ一条件約ニ其事
 變ニ應ジ其災地ニ就キ徐々ニ其方法ヲ設ケ置ク片ハ不正
 ヲ制スルニ充分ヲ得テ遂ニ其取締ノ要點ヲ完全スルヲ得
 ルナラン

大藏省

稅關ニ於テ事ニ害アルハ稅ノ脱漏ナレハ之ヲ防遏スルニ
 ハ先ツ其弊ノ生スル處ヲ推求シ之ヲ絶フハ稅關ノ要務ナ
 リ荷物ノ密揚密積ハ人ト謀ニ謀ラサレハ為シ難キト其發
 露ニ當リ罪ヲ遁ルノ路ヲキトヲ以テ之ヲ為スモノ少ケレ
 トモ減稅ハ其願書ニ就キ貨主隨意ニ為シ能フヲ得其事從
 覺スルモ一時ノ誤謬偶然ノ過失ト言ハ、裁判上ニ於テモ
 之ヲ認可スルヲ以テ其料ヲ免ル容易ナレハ之ヲ謀ルモノ
 尤願書ニハ其相違ナキヲ証シ記名スレトモ既ニ如此裁判
 官ニ於テモ誤謬過失ハ右外ナリトシ荷主ハ固ヨリ之ヲ恥

トセサレハ此証書ハ殆ント無効ノモノノ如シ依テ貨主或ハ其代理人其引受人ヨリ税關ハ差出ス都テノ証書類ハ右之者共税關ニ於テ其任ヲ受タル官吏ノ目前ニテ之ヲ誓ヒ自カラ記名シ其官吏猶之ニ証印シ置クトナラハ盟誓ニ對シ之ヲ輕視スルヲ得ヘカラサルノミナラス仮令其事果シテ一時ノ誤謬ニ出ルモノタリトモ己ニ自身顯然相違ナキヲ誓ヒシナレハ其誓ヲ虚クスル料ハ受ケサルヘカラス而シテ此違誓ノ罰ハ條約上ニ明記スルカ或ハ違誓ノモノニ當ソル其國一定ノ法律ヲ以テスルカ兩条何レニシテモ日本税關官吏ノ証印アルモノハ之ヲ據リトコロトシ其裁判ハ受理マサルヲ得サルヲ相成ハ遂ニ脱漏ヲ醸成スルノ禍根ヲ剪滅スルニ至ルナラン

木 藏 省

荷主ノ貨物ニ對シ一時税金ヲ仮納ヲ要スルキハ現金ヲ以テ税關ハ相預ケ東ル取右ハ荷主ニ於テハ融通ノ榮分ヲ附クノ現金ヲ以テスルヨリハ之ニ代フルニ保證書ヲ出スノ便宜ナルニ如カサルハ東逆モナク税關ニ於テモ預リ税ハ万一ノ事ノ設ナレハ其除ニ至リ當然ノ税金サハ納レバ之ヲ假ルニ必ス現金サラストモ信ヲ表スルニハ保證書ニテ足ルト雖モ現金ヲ預ルト証書ヲ預ルトニ於テ實際上事ニ主客難易之別ナキニアラス何ントナレハ現金ヲ預リ置クハ仮令彼レ約ニ違フモ我ハ其金ヲ收入スル迄ニテ此事ニ付為メニ我ヨリ訴フハキ譯ナクハ我主タルヲ失セザレトモ反之保證書ヲ預リ置ニ於テハ我主ヲ憂シ客トナリテ先其違約ヲ訴ヘ裁判ヲ請サルヘカラス然レハ其要點タル貨物ヲ我ニ持シテ論スト彼ニ在テ我ヨリ訴フルト其應

答ノ難易言ハスシテ明ケシ況ニヤ幸ニシテ裁判上我正理ニ歸スルトモ猶共納金ヲ怠慢スル片ハ亦其爲メ裁判ヲ請サルヲ得サル場合ニ立至ルヘシ己ニ當港開港ノ近年他港回漕ノ荷物ニ保証書ヲ受取シモノノ裁判ニ係リシテアレトモ多クハ我申立ノ通納金ヲ爲スニ至ラスシテ中止セルアリ勿論當時ト今日トハ異ナルカ如シト雖モ今日ニ於テ我ヨリ尤クノ理論ヲ述ルモ彼猶之ニ應スルノ論說ヲ主張スレハ矢張其結果ハ別段前日ニ相違ナカルヘシ然ル片ハ實地ノ換核ニ依ルモ前日ノ證據ニ由ルモ到底現金ヲ預ルハ保証書ヲ預ルヨリ我ニ利及ルハ疑ヲ容レス故ニ向來モ我ニ裁判ノ權ヲ復スルニ非レハ此実例ヲ變更ナカラン様アリタシ

大藏省

入出港手数料ハ従來船舶大小ノ差異ナク一様ノ課額ナルヲ以テ大船ニハ自カラ利アツテ小船ニハ不利ナレハ粗疎ニシテ適當ノ課税法トハ言ヒ難カルヘシ去リ連一々其噸數ニ當リ之ヲ課スルモ却テ緻密ニ過キ亦煩雜ナキニ非ス故ニ后来ハ何噸ヨリ何噸迄ハ手数料若干ト何階ニカ等差ヲ別テ其料ヲ課スルニ相成ハ粗疎ニ失セス緻密ニ過ス其中ヲ得ルノ取扱トナリ宜シカラシカ

内地運送船ト海外航行船ハ其運送スルトコロノ荷物ニ別アレハ嚴ニ之レカ區別ヲ立共營業ヲ班タスシハ税関ノ取締ハ勿論營業者ノ保護如何ニ差響クハ當然ナリ然ルニ漢地利條約第十一條同第十三條ニ依ル片ハ同國ノ船ハ外國航行船ニシテ猶開港場間内地ノ運漕ヲ爲スノ權ヲ有セリ

右ハ結約ノ當時ニ在ツテハ我國未タ堅守ナル運送船ニ
シツ外國船ニ此回漕ヲ許サ、ルキハ貿易上不便ナリ
以テ如此特許アルモノニマアラン若シ然ルキハ方今ニ在
ツテハ内國最早回漕船舶ノ具備セサルニ非レハ向來外國
人所育ノ船ハ外國航行ノモノト開港場間ノ運漕ノモノ
トヲ不論内地ノ運送ハ一切許サス且内人ト雖モ外國航行
船ヲ以内地運送ノ業ヲ兼子シメサルトニ相成ハ從來ノ如
ク荷主外國人ナルキハ仮令内地廻漕ノ品ニテモ内國人ト
取扱ヲ異ニセル習慣ヲ止メ唯内外運送船舶ノ區別ニ依テ
其貨物ヲ取扱フコトヲ得ルヲ以テ税關取締ノ宜シキハ勿論
傍内地運送營業者ノ保護ト相成良全ノコトナランカ

木藏省

外國人ニシテ港内ノ破船船ハ行賣ノ業ヲ為スモノニ二種
アリ一ツハ小間物類ヲ賣ル者ニシテ一ツハ食用品ヲ鬻ク
モノナリ條約面ニ右等ヲ禁スルノ明條ナキヲ以テ之ヲ拒
マス黙許シアレト小間物ヲ賣ルヲ名トシ若船中ノ者ト相
謀レハ些少ノ物ハ適分共ニ際ニ投レ好ヲ為レ難キニ非ス
食用品ヲ鬻クモノニ至テハ自己ノ棧橋ヨリ勝手ニ品物ヲ
手船ハ揚卸シ税關ノ改メヲモ不受本船ハ往來レ出港面濟
ク船及ヒ未タ港内ニ入ラサル船ハモ猶往來スレハ之モ決
シテ甚詠ノ媒介ヲ為サストハ難保兩條共税關取締上其関
係不尠依テ後來小間物行賣ハ一切禁止スルトニ相成食用
品ヲ鬻クモノハ即内地ノ營業ヲ為スモノナレハ外國人ト
雖モ内國ノ規則ヲ奉スルハ當然ノ事ニ付内國人食用品行
賣營業者ト同様ノ規則ヲ遵奉スルモノニ限り之ヲ許ス
ト相成ハ脱荷漏税ノ路ヲ絶テ取締ノ嚴重トナルニ至ラン

カ

外國人所有ノ解船ニハ從來製限ナキヲ以テ勝手ニ手帳ヲ製シ自己ノ貨物ヲ本船ハ運送シ或ハ傍ラ之カ營業ヲ為スモノアルニ至ル勿論右等ハ内國人所有ノ解船ノ如ク其規則ヲ奉スルヲアルニ非レハ税關ノ取締ノ蠹害トナルヲモナラス内國人營業者ノ支障不少ニ付店來ハ外國人ノ手帳ヲ以運送シ或ハ右營業ヲ為ス等一切禁止スルヲニ相成ハ頗ル税關ノ取締ヲ嚴然ニ傍ラ内國人營業方保護ノ一端トモ相成宜シカラシカ

從價ハ其品ノ美惡及ヒ需用供給ノ度ヨリ超ルトコロノ價直ニ基キ以テ税金ヲ算シ定額ハ唯其品ノ類別ト等差ニ就

大藏省

キ之カ數量度衡ニ因リ其税額ヲ定メシモノナレハ税法上ヨリ之ヲ謂ハハ從價ノ緻密ハ定額ノ粗疎ニ相勝ル様見エルト雖モ其徵收ノ實際ニ於テハ敢テ然ラス何トナレハ税關ニハ鑒定ノ分職アルヲ以テ固ヨリ失鑿ハ無之筈ナレトモ各品時々ニ低昂アル價直ト美惡夥多ナル品位ヲ察シ其價ノ當否ヲ判別スルヤ千殊ノ貨物ニ應シ一々分寸ノ齟齬ナキハ保チカタク及之定額ハ不變ノ數量度衡ニ因ルモノナレハ常人容易ニ之ヲ計算スルヲ得テ万一ノ誤謬ナキカ如シ且貨主ニ在テモ從價ハ詐偽ヲ為スノ罅隙アレトモ定額ハ罰ヲ覆フノ遁路ナク兩者ノ得失難易著キ如此ナレハ課税ノ法後來成ヘク定額ノ一編ニ歸セラレタレ然ル片ハ其奸詐ヲ未萌ニ防止スルノミナラス取扱上ニ於テモ頗ル平易簡便ナラシカ加之何レノ品ヲ不論税額ヲ定ムルニハ

必ス其最下等物ニ就キ之ヲ為サ、レハ粗品ヲ持來リ良品ニ對スルノ稅ヲ納ムルハ折角ノ粗品モ其代價ヲ増スヲ以テ自カラ高賣上ニ差響キヲ生スルヲアレハ陰然粗惡ノ品輸入ノ豫防トモ為リ旁其關係スル所跡ニアラサルヘシ定額稅八成ハク其品ノ總稱ニ由ラス明瞭ナル品種ニ就キ定メラレタレ然ラスレテ譬ハ唯總稱ノ皮ヲ以テスル片ハ諸皮尽ク其中ニ含有スルモノトナリ自カラ精粗差惡相混スレトモ反之皮ノ品種即牛皮或ハ馬皮ヲ以スル片ハ共掲ケサルノ他ハ從價稅品トナルヲ以如此ノ弊ナキカ如シ將又一般ノ從價品ノ如キ之ヲ定額ト為シ能フモノハ其稅ノ分割ニ從ヒ何時ニテモ公布之上之ヲ定額ニ變換スルヲ得ル様取極ラレタレ此兩条ハ收稅法簡易ニスルノ根元タレハ稅関ニ於テハ最緊要ノ件ナリ

大藏省

方今稅則中ノ尺度ハ專ラ英國ノ名稱ヲ用ヒアレリ自國ノ名稱ヲ棄テ故ラニ一邦ノ名稱ニ據ル片ハ他ニ對シテモ亦各其名稱ヲ用ヒスルハアルヘカラサルノ譯ニテ體裁ヲ得ルモノト謂フヘカラス況ンヤ織物ハ獨リ英國ニ止マラス他方ヨリモ輸入スレハ其計算上ノ煩勞ヲ省クニ足ルトイフニモアラス故ニ後來ハ他國ノ名稱ニ據ラス自國ノ尺度ヲ用ヒラレタレ乍併多年慣習ノ取扱方ヲ變スル片ハ一時ノ混雜ヲ生スル不便利床トアリトモハ彼ノ尺度ニ適スル我端數ノ尺度ヲ以テスルモ亦可ナルヘシ

自國物産ノ輸出ヲ盛大ニスルニハ勉メテ入ヲ嚴ニシ出ヲ寬ニシ之カ均度ヲ保完スルノ適法タルハ固ヨリ言フヲ俟



然レ人民未タ貿易ノ道ニ慣熟セサルニ據リ遲ニ之ヲ
 寬ニスル片ハ需用消費ノ多寡ヲ考スレテ猥リニ貨物ノ輸
 出ヲ競争シ是カ為ノ却テ損失ヲ取ル等ノ弊害アルヲ慮リ
 漸次ヲ以テ輸出ハ免稅ト相成ノ譯ヲラハ己ニ工部勸奨ノ
 為メニハ内國製ノ西洋紙並水土産摺附木ノ類輸出無稅ト
 ナリシ如ク輸出後更ニ工作ヲ經ヘカラサル産物ニレテ專
 ラ支那地方ニ向ケ輸出スル即寒瓦人參ホノ品モ生産勸奨
 ノ廉ニ對シ同シク輸出免稅ニ相成リタシ支那人ノ商法ハ
 最薄利ヲ以主トスレハ曩ニ三菱會社上海通航ヲ開キ其運
 賃ヲ省減セシモ猶之ニ影響ヲ與ヘシナレハ今亦之ニ免稅
 相成ニ於テハ必ヤ其輸出ノ額ハ今日ヨリ上ルモノアラン
 カ果シテ然ラハ煩ル生産ノ繁殖ヲ助ケルノミナラス輸出
 ヲ増加スルニ付テハ隨テ商業ハ旺盛ヲ來スノ一端トナリ

大藏省

其實効少キニ非サルハシ

右ハ拙者平生ノ管見臆說ナレトモ今般見込書差出ニ付テ
 ハ任テ之ヲモ録シテ御參考ニ備フ

第貳百五拾壹号

本年九月廿日第一二号ヲ以條約改正参考ノ為現行ノ交易
定則及ヒ税目中施行上從來ノ紛議障礙又ハ尔後弊害可相
生哉ノ慮々注目シ彼我ノ利害得失ヲ審按シ至當中正ニ
候様加除訂正ノ見込ヲ以澳國條約ヲ基本トシ夫々取調
日限可差出御達之趣領策致候則見込ノ慮々別紙ノ通取調
差出申候間可然御取捨有之度其他尤之慮々御改訂相成度
候ニ付以序上申致候

一 輸出税則中第四十九葉蕨ノ如キ其税人ユヲ経タル第
十製シタル蕨ノ税ヨリハ半額ノ減額ナリ故ニ國産繁殖
励ノ如何ニ依テ論スレハ税額交換相成及方相當ト存及素
ヨリ如此ノ類税則中數件有之候間若此等ノ件々迄ニ御改
訂ノ儀ニ候ハ、早速取調差出候様可致候

大藏省

一 輸出入ノ定額物品低税ナルモノ夥多有之原價五分ノ半
ニ至ラサルモノ枚擧ニ不違其中二三ヲ擧ケ三ヶ年平均表
一 括差出及間御参考有之度候
一 各國條約書中譯父原文ト齟齬スルモノ尠カラズ不都合
ニ候間此際御改訂相成度候

右之趣上申致候也

長壽税関長

明治十年十月十九日

高橋新吉 印

関税局長

吉原重俊 殿

罰金徴收之事

澳地利條約中

第七條

此條約或ハ之ニ附屬スル貿易ノ規律又ハ稅則ヲ犯セルニ付取立ヘキ罰金或ハ其物ヲ取揚ル事ハ稅関長之ヲ本人ニ談シ覆分スヘシ若シ本人不伏之事由アリテ兼諾セサルハ其國領事之裁判ニ因ルヘシ領事裁判之未取揚ケタル貨物或ハ罰金ハ都テ日本政府ニ屬スヘシ

本文ノ義ハ七年十一月八日却達ニヨリ己未成規ニ相成ヌヘシ條約中明文無之ニ付動モスレハ紛議ヲ生スル不助因テ朱書ノ文字加入アリタシ

海軍備用品賣却之節稅金納入改定ノ事

右同國條約中

大藏省

第十九條

澳地利及洪噶利海軍備用品ノ諸品ハ日本國ノ諸關港場ニ陸揚シ澳地利及洪噶利官吏ノ保護スル倉庫ニ藏ノ云々若シ此備用品ヲ日本人或ハ外國人ニ賣ル事アラハ之ヲ賣却スル前其品各員數ノ量等詳細記載セル書面ヲ以テ稅関長ニ届出テ稅関吏員立合之上直ニ賣主ヨリ相當ノ稅金ヲ納ムヘシ若シ其手致ヲ經スシテ賣却スルハ其品日本政府ニ沒收スヘシ

本文海軍備用品賣却ノ節徵稅スルハ当然ナリ然レモ稅関ニ通知ナキハ脫稅ノ憂動ナカラス且總テ此等ノ物品ハ競賣スル故稅関ニ於テ買主ヨリ徵稅スルハハ事繁雜ニ涉リ隨テ双方不便ヲ生スルハ必然故不取締ナリ簡便ナルヲ主トセン為朱書之文字

加入アリタシ

出入港手数ヲ要セサル船舶區別之事

日本ニ於テ澳地利及共噶利人交易ヲ為ス
定則中

第二則

修復ヲ要スル船ノ内洋中ニ於テ難風等ノ災害ニ罹リ不得
止寄泊シ共事由ヲ証明スル澳地利及共噶利領事之告書ア
ルモノニ限り出入港手数料或ハ税金ヲ拂ハスシテ其積荷
ヲ陸揚シ得ヘシ且藏敷人足賃并ニ守護ノ為ノ都テ相当ノ
入費ハ船長或ハ引受人ヨリ仕拂フヘシ然リトイヘニ若シ
其荷物之内ヲ賣ル事アラハ其賣リタル分ハ適當之税金ヲ
拂フヘシ

但難風等ノ災害ニ拘ハラズ只石炭等ノ欵迄ニ付入

大藏省

港スル船ハ此限りニ非ス

本文修復ヲ要スル船ハ各因船舶洋中ニ於テ難風ホ之災
害ニ罹リ修復ヲ加ヘスシテハ其向ケ先之次ハ航行シ難
キニ依リ不得止寄港スルモノナラン然レニ当長崎港ノ
義ハ清国等ハ違ヒ諸物價下直ナル土地ニツキ外人共修
復費之都合ヲ謀リ往々修復船之名義ヲ借ルノ弊害ヲ生
シ殊ニ石炭之義ハ尤其数多キニ居ルニ因テ朱書之通加
入アリタシ

密商阿片罰金計算之事

右同則中

阿片ヲ輸入スルハ禁制ナレハ云々且阿片ヲ密商シ又ハ密
商セント謀リシ者ハ各密商シ或ハ密商セント謀リシ阿片

ノ高一行未滿ナルモ之ヲ一行ノ部トシ毎行墨斯哥銀十五枚之罰金ヲ拂フヘシ

本文密商阿元之高一行毎ニ云々トアリ別ニ端教掲載ナシ之ハ一行ノ一部毎ニトテヲ裁ナルヘシ是等明瞭記載ナキハ實際計算上紛議ヲ生スル事アリ因テ未書之文字加入アリタシ

但此年五月廿二日神戸税関所指令即参考アリタシ

荷物目録本書為差出方之事

右同定則中

第三則

差出シタル荷物目録之本書ハ必ス運上所ノ官吏へ差出シ官吏其差出シ書中ニ記シタル品々ヲ調へ終ル迄其本書ハ官吏ノ手ニ留メ置ヘシ若シ荷物目録ノ本書不差出モノハ

大藏省

通関ヲ不許

本文七年九月廿五日神戸税関所へノ御指令ニヨリニ百田以上荷物目録不差出者ハ通関不許成規ニ相成居候ヘ正明文無之故動モスレハ紛議醸出候ニ付本文未書之通加入アリタシ

同日出入港手数許可スル郵船確定之事

右同則中

第四則

澳地利及洪噶利領事之証明スル告書アル其国蒸氣飛脚船ハ同日ニ入港ト出港ヲ為シ得ヘシ且云々

本文郵船ハ尋常商船ト違ヒ税関ニ於テ取扱方簡易ナルニツキ商船ノ景況ニヨリ迅速出港セシムルヲ欲シ安

リニ其名義ヲ借ルノ弊害アルモノ計リ難シ因ニ朱書
之文字加入アリタシ

大藏省

2-1555

0005

輸出税則ノ部

茅七

石炭

定額百斤百〇〇四

右蒸気船用トシテ無税可積入高ヲ定メ其餘商用トシテ積入ル分ハ定税徴収イタシ度見込

但是マテ追々終議ヲ生シ不都合不勘ニ付敷回上中致置タリ依テ却参考アリタシ

茅四十七

茶

百斤ニ付 三ヶ五

番茶

百斤ニ付 〇〇七五

從價

右茶ト番茶トノ區別品柄ニヨリ時々異議ヲ生シ尙

大藏省

主上茶ノ税金ヲ納メサル分番茶ニハ難見做サレト

上茶ノ税金取立ルモ不当ナラン依テ赤字ノ通改正アリタキ見込

第五十一

葉茶

〇七五

右葉茶トノミ税目ニ掲載シアレモ粉茶ハ従價税ヲ

以テ輸出差許シ来レリ元來葉茶ト粉茶ノ分取判然シ難キヨリ屢終議ヲ醸生シ到底彼ノ奸策ニ陥イル

憂モ尠カラズ依テ両種ノ差別ナク同額ノ税目ニ改正アリタキ見込

輸入税則之部

第十八

木綿ヨリ糸木綿元ヨリ糸

右兩種ハ改品上尤區別シ難ク随テ時々紛議ヲ生ス
故ニ総テ従價ニ致シ度見込

第十九

窓硝子

一箱四角ト三限止 〇三五

其他硝子色板

板硝子「フートガラス」并硝子類ハ「従價」

右硝子板額税目中ニ各種之區別ナシ故ニ時々異論
ヲ生スルニ付改訂アリタキ見込

但本文訳文硝子板トアレバ原文ニハ窓硝子「ウイ

ンドガラス」トアルニ付キ朱書之通改正アリタシ

第二十

大藏省

犀角

右ハ些少ノ高希ニ輸入スレバ従前之定額不當ナラ
シ是等ハ損失ノミナラス不規則ナレハ相当ノ税額
ニ改訂アリタキ見込

第二十一

麻布類

十碼 〇三

麻綿交織

「従價」

右兩種改品上尤難區別時々紛議ヲ生ス故ニ麻綿交
織ノ分ニ定額ニ相成度見込

此他税目中茅貳種無税品之内従價税徴収相成度全ク商
品トシテ輸入ノ物ハ有税品ニ致シ但米油糟等ノ如ク我
要用之品ハ此限りニ非ス

新設

於各開港場外國人製造船舶取扱之事

内外人或日本國產出之木枋ヲ以テ製造スル大小船舶ハ税金ヲ徴收セスト至モ貨物運輸ニ供シ本船自ラ出帆スル者ハ船卸之節其船名噸數馬力等記載セル書面ヲ税関ヘ差出サセ之ヲ入港手教ト見做シ入港手教料ヲ納メ出港ノ節ハ通常船舶船同様出港手教料ヲ納ムヘシ

本文ハ七年九月廿二日神戸税関同ヘ御指令ニ依リ成規トシテ施行シ来レモ章程中明文無キニ付動モスレハ紛議ヲ生スルニ付此條ヲ加入アリタシ

各國領事之貨物徵稅之事

大藏省

各國領事之貨物ハ其館用或ハ自用及ヒ贈答品タリモ輸出ノ之節ハ通常商品物同様税関ニ於テ検査ヲ受ケ有稅品ハ相当之税金ヲ納ムヘシ

本文九年一月廿二日御達ニ因リ施行シ来レトモ章程中無明文ニ付領事之貨物輸出入之節徵稅之儀紛議ヲ生シ税関ニ於テ繁雜勅カラス勿論徵稅スルノ條理アルニ因リ確然此條ヲ加入アリタシ

輸出稅返附之事

輸出稅濟品甲港ヨリ内地乙港ヘ回漕シ貨主之都合ニ因リ陸揚願出候節ハ甲港之輸出免狀ヘ陸揚許可之証ヲ裏書シ貨主返附之貨主右免狀ヲ六ヶ月已内甲港ニ差出候節ハ通常税金高百分之二ヲ手教料トシテ徵收シ本稅返附致スヘ

本文譬ハ荷主之都合ニヨリ甲港ヨリ輸出税済之上内
地ニ港ニ至リ海外ニ輸送スルヨリ利益ト見ルハ乙
港ニ於テ陸揚スル故返税トナル右ハ全ク荷主之利益
ニシテ税関之繁雜勘カラス故ニ手数料アルハ相当之
事トス因テ此條ヲ加入アリタシ

但九年七月五日ノ上申御参考アリタシ

大藏省

2-1555

0009

當港輸出入物品三年平均相場

輸出之部

錫

七年 百六拾七万六千九百拾五斤

元價

貳拾六万八千七百七拾三兩

八年 百壹万三千三百零五斤

拾万六千三百六拾五兩

九年 百拾壹万三千九拾三斤

拾六万貳千壹百六拾四兩

ノ三百八拾万七千三百斤

五拾六万七千四百兩

稅

壹万貳千八百三拾壹兩余

平均百斤拾五兩ニ当ル元價ノ貳分貳厘六ニ当ル

葉菴

七年 百三拾六万六千四百斤

拾四万三千七百貳兩

大藏省

八年 百三拾六万八千五百拾貳斤

拾万貳千貳拾七兩

九年 三拾五万五千七百六拾斤

貳万三千九百貳拾五兩

ノ三百九万三千七拾六斤

貳拾六万六千零貳拾四兩

七千四百六拾貳兩余

平均百斤凡八兩六拾錢ニ当ル元價ノ貳分七厘九ニ当ル

煎海魚胤

七年 拾壹万六千九百零拾六斤

四万三千六百拾六兩

八年 五万七千七百零貳斤

貳万九千九拾六兩

九年 拾三万六千七百五拾八斤

四万六千九百六拾兩

ノ三拾壹万八千零拾六斤

拾壹万六千六百七拾四兩

貳分九厘九拾九兩

平均百斤凡三拾六兩 元價ノ貳分六厘九ニ当ル

乾鮑

七年 八万貳千五百九拾七斤

貳万四千五百三拾四兩

八年 八万九千八百九拾七斤

貳万六千五百貳拾六兩

九年	八万九千三百三拾三升	二万七千四百五拾三升
ノ	二拾六万八千二百拾壹升	七万五千百拾三升
平均	百升凡三拾四升	元價ノ三分二厘三ノ当ル
船用石炭 但外國船之分		
七年	七万三千五百七拾六噸	三拾三万四千四百拾八円余
八年	拾壹万二千四百九拾貳噸余	五拾三万四千四百拾八円余
九年	八万六千四百九拾九噸余	四拾四万三千三百拾五円余
ノ	二拾七万四千四百八拾噸	百三拾壹万三千拾壹円余
輸出入之部		
緑綿		
七年	三萬八千七百七拾九拾壹升	五拾万五千百九拾七円余
八年	百五拾四万九千五百貳拾拾升	貳拾貳万九千七百貳拾四円
九年	七拾三万四千百九拾五升	九万六千三百七拾九円
ノ	六百拾六万二千百九拾六升	八拾貳万七千貳百九拾六円
平均	百升凡九拾三円余	元價ノ三分二厘
熟鉄		
七年	百拾四万四千四百拾四升	五万貳千三百三拾三円
八年	百貳拾六万六千六百貳拾拾升	四万八千五百五拾九円
九年	九拾九万六千貳百四拾貳升	三万七千七百六拾六円
ノ	三百四拾万六千七百八拾三升	拾壹万八千四百五拾八円
平均	百升凡九四四拾貳二当ル	元價ノ貳分三厘七二当ル
白砂糖		
七年	百四拾八万六千五百五拾三升	拾万五千三百三拾七円
八年	貳百貳拾三万八千五百貳拾升	拾四万五千貳百六拾四円
九年	百三拾万七千貳百九拾六升	七万五千六百四拾四円

2-1555



ノ五百五十六百五拾壹斤 三拾貳万六千六百拾壹円 壹万貳千六百拾四円余
平均百斤九六四拾銭余ニ当ル 元價ノ三分七厘五ニ当ル

大藏省

2-1555

0092

例

第二百九号

貿易定則訂正ノ見込書呈呈ノ義上申

新潟税関

條約改正参考ノ為メ現行之貿易定則及税目中ニ於テ利害得失ヲ按シ訂正ノ見込取調差出スヘキ旨第一一三号ヲ以テ御達相成候ニ付別紙調製進呈致シ候此段上申ニ及候也

新潟税関長代理

明治十年十月十三日

大藏六等屬則元可貞

(印)

關税局長

大藏大書記官吉原重俊殿

大藏省

貿易定則中改正見込書

一 現今ノ貿易定則及税目ハ條約ノ一部ニ屬スルヲ以テ他
ノ不都合アルモ輒スク改易スルヲ得ス今回條約御改
正相成候ハ、之ヲ條約範圍中ヨリ分離シ税關ノ規法ト
為シ我權ヲ以テ適宜之ヲ取捨ルヲ得ル様御確定相成
度候

一 此定則ニ掲載ナキ條件即チ當時現行ノ本局御達及御指
令譬へハ（インウオ井ス）ヲ附載セサル時ノ諸規則等ノ如
キハ定則中ノ缺漏ヲ補フヘキモノナリト雖凡右等ハ実
地施行相成居候ニ付今茲ニ贅セス

一定則中（マニフエスト）ヲ告書ト譯シ（インウオ井ス）ヲ目錄

大藏省

ト譯スルカ如キ煩ル妥當ナラサルニ似タリ因テ尤ノ如
ク改メタシ然レバ此等ノ原字ハ元來裁カニ三ノ文字ヲ
以テ譯シ難キモノナレハ敢テ是ヲ以テ適譯ト信スルニ
非ス但此或ハ彼ヨリ善カラシカ

エントリーインワルズ

入港報告

マニフエスト

船貨報告

エントリー

輸入願書

インウオ井ス

貨物票

ビルオフレージェング

船積証書

ノーチーヌフォルクレアレンス

出港報告

一條約第十一條ノ條件ハ海關規則ニ屬スヘキモノナルヲ
以テ其意ヲ採リ規則中ニ掲載シ置キタシ
一 税關ニテ貨物買上ノ事ハ甚々好マシクナキモ従價品ニ

増價スル上ハ其増價ノ公正ニシテ動ス可カラサルヲ
 表スル爲ニ結局己ムヲ得サルノ義ナレハ條約第八條
 中ヨリ技キ来リ尤ノ如ク改メ規則中ニ掲記イダシタシ
 (從價税ヲ課スヘキ貨物ハ税關官吏之ヲ検査シ貨物
 票中詳記ノ元價ヲ算シ其税ヲ課スルヲ法トス然
 レモ税關長貨物票中ノ價ヲ以テ不當トスルモハ税
 關査定者ノ估價ニ從ヒ之ヲ課スヘシ若シ輸入人其
 估價ニ服セサルヲアレハ税關及輸入人ヨリ其貨物
 ニ關係ナキニ入若クハ二人以上ノ商人ヲ出シ其估
 價ニ從ヒ收税ス若シ右等ノ商人鑿定一ナラサルモ
 ハ税關長ハ其至當トスル價ニ從テ其税ヲ徴收スヘ
 シ然レモ輸入人猶兼諾セサルヲアラハ税關長ノ取
 極メシ價ヲ以テ買上テテ請求スルヲ得

大藏省

但本文鑿定商人ノ手数料ハ輸入人ヨリ拂フヘシ
 (銃砲彈藥及一切ノ兵器ハ日本政府ノ公布ヲ以テ臨時輸
 入ヲ禁スルヲアルヘシ)トノ句ヲ規則中ニ加ヘ置タシ
 一税金ノ高ハ御改正ノ際元價ノ分割ヨリ算出シ至當ノ根
 拠ヲ立テ然ル後一級ノ權衡ヲ取り確定セラルヘケレハ
 一品一物ニ就キ意見ヲ陳スルモ甚タ無用ニ屬スルヲ以
 テ茲ニ贅セス但輸出戸ハ人エヲ經サルモノニテ人エヲ
 經レハ許多ノ價ヲ益スヘキモノ即チ蚕卵紙生糸等ノ如
 キハ相當ノ税ヲ課シ己ニ入エテ經盡シタル茶陶器漆器
 ノ如キハ都テ無税トナシ輸入品ハ未タ入エテ經サルモ
 ノ及内國ニ必用ニシテ窮竟内地ニテ製造スヘカラス從
 ヒ製造スルモ徒ニ虚費ヲ要スヘキモノヲ除キ其他一切
 高税ヲ課スルヲニ致シタシ然レトモ外貨ニ高税ヲ課ス



ルノ目的ハ重モニ内地ノ物産ヲ起スルニ在ルヲ以テ内地工業ノ將ニ起ラントスルノ機ニ投スルニ若クハナシ一列ヲ舉ケシニ現時製紙ノ工漸ク起リ牧羊織毛ノ業亦少シク開ケントス是時ニ及テ宜シグ紙及毛布ノ税ヲ増シ以テ其工業ヲ保護スヘシ若シ然ラスシテ徒ニ高税ヲ課セシトスルモ内地必要品ニ至テハ高税ヲ以テ共輸入ヲ防クニ足ラス適サニ以テ其價ヲ増シテ以テ消費者ヲ困スルニ過サルノミ國家ニ於テ一ノ裨益無カルハシ一罰金ノ高ハ各國海關規則ノ振合モアレハ御改正ノ際必ス適當ノ額ヲ確定セラルヘシ因テ今之ヲ掲ケス

定則第一則

第一款 (四拾八時中)

右ハ (ニ拾四時中) 日曜日祝日及税關開應時中 ト改メタ

大藏省

シ且領事ノ証書中ニ (税關ノ諸手数を経了セサレハ船籍等ヲ返付セス) ト云フ文字ヲ加入セシメタシ

本文ノ通ニ付第四則第一款ノ本文船司運上所ヨリ云々ノ数句ヲ削ル

第二款 (旅客ノ名)

右ハ (旅客ノ人員) ト改メタシ

第四款 (告書中ニ漏レタル諸物品ノ為運上ノ外) 云々

此處無税品ノ設置ヲ脱ス故ニ (其貨物無税ニ属スル片ハ何箇ノ罰金ヲ課ス) トノ文ヲ加ヘタシ

第五款 (入港手数を怠ル日) 云々

日ノ下ニ (四時) ノ割注ヲ加ヘタシ

第二則

第五款 (包貨ノ中目録中ニ載セサル云々)

故アリテイシウオ井スヲ附載セサル貨物ニモ或ハ此好

ナキヲ保マス因テ(目録)ノ下ニ若クハ輸入額書ノ文字
ヲ加ヘタシ

第七款(修復ヲ要ル船ハ陸揚シタル諸品ハ日本官吏ニ
テ預リアルヘシ)云々

預リノ字大ニ碎碍アリ預リタル上ハ其貨物ノ損失ニモ
關セサルヘカラス又藏敷云々ノ句アリ右倉庫規則モ一
同御改正ニテ右等ノ條ハ悉皆規則中ニ御掲載相成ルベ
シト倍候ニ付總テ删除尤リ如ク改メタシ

(修復ヲ要スル船舶ハ税金ヲ納メスシテ其積荷ヲ陸揚
スルヲ得然レモ必ス税關ノ上屋或ハ倉庫ニ入レ何レ
モ其規則ヲ遵守スヘシ若シ其荷物云々)

第九款(阿片云々日本政府ハ取押減却)

(税關ニテ之ヲ没収スヘシ)ト改テ可ナラシムシモ減

大藏省

却ト限ラスシテ可ナリ且下文ニ尤ノ但書ヲ加ヘタシ

(但藥用ニ供スル鴉片ハ日本政府ノ免許ヲ得タル人ノ
ミ之ヲ輸入スルヲ得)

第三則

第四款(荷主亦ハ輸入人其荷物中其損傷ノ趣云々)

右八九ノ如ク改メタシ

(損傷ノ趣ヲ告知スヘシ税關官吏ハ税關鑿定者ヲシテ
定額品ハ其現品ヲ檢セシメ從價品ハ其價ヲ詳セシメ各
々其鑿定ニ從テ税金ヲ徵收スヘシ然レモ荷主又ハ輸入
人ノヲ承諾セサルヲアレハ税關及荷主ヨリ其貨物ニ關
係ナキニ人若クハ二人以上ノ高人ヲ撰ミ之ヲ鑿セシメ
其鑿定ニ從テ減税スヘシ但右商人ノ鑿定不同アルハ
税關長ハ之ヲ斟酌シ之カ減税ヲ許スヘシ)

大藏省

第五款 然リト雖此定則ノ添フタル條約第八條云々
此款意味明瞭ナラス英文ニ據レハ 運上所官吏ノ條約
第八條ニ從テ荷物ニ價付スルヲ妨クヘカラス トノ
意ナリ果シテ然ラハ前款税關鑑定者云々ノ件ヲ掲ケシ
ヲ以テ削除シテ可ナラン

第六款 運上拂濟ノ後ハ 船中ニテモ渡スヘシ 船中ニ
テ渡スヲ許ス片ハ検査モ亦船中ニテ行ハサルヲ得ス
故ニ此ノコトク方法ハ萬已ムヲ得サルノ時ニ限ルハ
シ譬ハ巨大ノ機械ヲ一ノ開港ニ積乘リ納税ノ后他ノ不
開港ニ四漕セントスルニ該開港ニ陸上シテ後又他船ニ
積移ス片ハ荷主ニ於テハ多少ノ困難ヲ生スルハ勿論時
況ニ依リテハ陸上シ得サルノ事モアルベシ斯ノ如キ場
合ニ於テハ船中ニテ検査ノ上直ニ引渡スヲモアルベシ

然レモ此等ノ事ハ特別ノ事件ナレハ税關長ノ特許ヲ受
クヘキモノト為スハシ本文明損傷品ト雖モ萬已ムヲ得
サルニ非レハ船中ニテ渡サ、ルヲニ致シタシ故ニ別ニ
一款ヲ掲クルヲ尤ノ如シ

凡ソ貨物ヲ検査スルハ税關中ニ限ルハシ然レモ巨大
ノ機械カ若クハ運搬シ難キ品物ヲ船中ニテ検査セン
ヲ乞ヒ税關長之ヲ至當トスル時ハ之カ特許ヲ與フヘシ

第七款 輸出セシトスル 器輸入人右差出書云々

輸入人ハ輸出入ノ誤ナルベシ

第十款 日本官吏疑致 器取押置ヘシ
取押置トハ原ト領事ニ通知スル為ナリ然レトモ今回條
約改正ニテハ裁判權ヲ復ヒラルヘケレハ左ノ通改メタ
シ



(取押之ヲ検査シ其品果シテ納税スヘクシテ未タ其手
数ヲ経サルモノナレハ之ヲ没收スヘシ)

第十一款

第十二款

兩款トモ十款ノ通ニ付刪ル

第四則

第一款 (船司運上所ヨリ中書類ヲ船司ハワタスハカラス
此文ハ第一則第一款ニ辨セシ通ニ付刪ル)

第五則

第一款 (偽ノ告書或ハ証書) 云々

此条告書証書トノミニテハ頗ル漫然ニ屬スルヲ以テ尤
ノ如ク改メタシ

大藏省

(税關ノ收納ヲ害スル為メニ貨物票若クハ輸入額書共
他一切ノ書類ヲ偽作シ之ヲ税關ニ出シタル本人ハ其犯
ス毎ニ云々)

第六則

第一款 (噸税) 云々

相當ノ噸税ヲ徴収スルニ改メタシ

第三款 (健固状)

健固状ハ地方廳ヨリ渡スニ至當ナラン

第七則

第八則

第二款 (日本入買入レタル諸外國船) 云々

本條納税者ヲ記セサルヲ以テ議者或ハ賣主ヨリ納ムハ
キトノ明文ヲ掲ケ置クヘキノ説ヲ為スニアリ然レモ稅
ノ旨タルヤ只其貨物ニ課スルヲ法トス故ニ賣主ト買主

トヲ問ハス外貨ヲ内地ニ輸入スルノ時ニ當リ其貨物ノ
 通關ヲ願フ人ヨリ之ヲ徴収スルヲ當然ナリ但船舶ノ如
 キハ現ニ通關スル物ニ非サルヲ以テ他ノ物品ト少シク
 異ナルカ如シト雖モ噸税ヲ納メサレハ日本人即チ買主
 ニ於テ其所有ト爲シ能ハサルカ故ニ納税ノ時エソ即チ
 輸入通關ノ時ト着做スハケレハ其額入即チ輸入人ヨリ
 エソ税ヲ納ムルヲ當然ナリ且ツ納税ノ取極ハ賣主買主
 ノ相談上ニ在ル者ニシテ税関ニテハ相當ノ税ヲ徴スレ
 ハ他ノ故障アル可カラス若シ必ス賣主ヨリ納ムハシト
 ノ事ナレハ外國ニテ購求シ来リシ船舶ト雖モ猶外國人ヨ
 リ納メシメサルヲ得ス豈ニ不都合ナラサランヤ是蓋シ
 船舶モ亦物品ノ一ナリト云フヲ注意セサルカ故ナリ
 同欸（日本船トシテ船目録ニ書載スヘシ）

太 藏 省

是税関事務ニ非ス故ニ税関規則ニハ加ハスシテ可ナリ
 同欸（尤其船ノ噸数ヲ定ムル為メ日本長官ノ需ニ應シ）
 云々

此等ノ文煩ル條約ノ体裁ニ属スルヲ以テ尤ノ如ク改メ
 タシ

（尤噸数ヲ証スル為メニ願人ハ該船ノ船籍カ或ハ税関
 長ノ許認スヘキ該船ニ關シタル証書ヲ出スヘシ）

第九則

第三款（然リトイヘトモ 中 右ノ趣意ヲニケ月前ニ外國ノ長
 官ニ告知ラスヘシ且此禁制云々）
 （ニケ月前ニ新聞紙等ヲ以テ一般ニ公告スヘシ）ト改
 メ（且此）以下削リタシ

第十一則

全則皆刪

輸出税目ノ部

第一種

石炭

此等ノ輸出品ハ大抵無税ニ致シタキ見込ナレバ必ス課税スヘキトノ事ナレハ現時汽船用ノ石炭ハ其高ノ多少ヲ問ハス皆無税ノ是船舶ノ大小ト航路ノ遠近トニ因テ程限御定相成タシ

第二種

金銀銅 但シ公ノ入札云々

但書刪リタシ

輸入税目ノ部

大 藏 省

手拭

右ハ本綿製ノモノノミニテ麻製ノ如キハ従價ニテ徴収シ來リシ敷只手拭トノミニテハ少シク穩ナラス因テ本綿製麻製ト一々掲記シ置キタシ

木綿ヨリ糸 但卷真ノ有無ニ拘ラス

但書刪リタシ卷真ハ引去ル方至當ナラン

硝子板 一箱 十フット

一箱ノ字甚タ穩カナラス (十フット四方ニ付)ト

改メタシ

アンペラ 鋪物 一卷ニ付 四ヤルト

(四十ヤルトニ付)ト改メタシ且幅ニモ長短アルヘケレハ幅幾インチト加ヘテハ何如

熟鐵

棹大細並釘等

捻釘其他先キノ尖ラサル釘ハ現時従價ノ處（釘等）ノ
字ニ對シ少シク穂カナラサルニ似タリ此等ハ皆一々掲
記シ各税額ヲ分テタシ

鐵葉 重九十斤迄ノ箱

（迄ノ箱）ノ三字不穂若シ九十斤以上ヲ入レタル箱ナレ
ハ此税ヲ課スルヲ得ス（百斤ニ付）ト改メタシ

蠟列形竹鋪物

同似革鋪物

右ハ何レモ幅ヲ極メ置タシ

藤

右ハ細ク割タルモノニ限り當時従價ニテ收税ノ處明文
ナクシテハ穂ナラス因テ其目ヲ掲ケタシ

赤黒砂糖。

太 藏 省

赤白ノ別甚難シ是等ハ従價ニスル方宜シカラシ

第二種無税品

食料又ハ荷物運送ニ用エル諸獸類破並鎖ノ破繩及石炭

右等ハ皆課税シタシ

外國ノ衣裳

衣服ハ勿論帽子縞絆襟飾等ノ如キ現今無税ノ處税目設
定ノ時ハ固ヨリ内人ニテ此等ノ品ヲ用テ候モノモ無之
故無税ニテ可然候ハトモ今日ニ至リテハ内人一般ニ用
テ候事ト相成何レモ相當ノ税ヲ課シテ可ナランカ

荷造ニ用エル苧

塩漬ノ食料

硝石

ソルドル



タ、ル、莽、チ、マ、ン

茶ヲ製スル鍋釜籠

茶銘

右ハ何レモ収税シテ可ナラシ

第三種禁制品

阿片

阿片ノ下ニ及吸煙用ノ器具ト加ヘタシ

大藏省

2-1555

0104

條約改正ニ付御参考之為ノ所見上申

函館税関

條約改正御参考之為ノ現行之澳地利亞交易定則ニ基キ所見上申可致旨第一一一二号ヲ以御達ニ付新設相成度廉并ニ旧文江増加等之義御下付之雛形ニ徴ヘ別命上申致シ候尤横濱等ノ如キ多端ナル事務取扱上ニ於テ定則并ニ税則中判然セサルヨリ間々疑惑ヲ生シ差支候廉比ニ可有之随テ所見モ許多上申可相成与存候得共本港ノ如キハ右等之較ニ無之旁管見モ狭ク且御改正之際ニハ従前各港税関ヨリ伺出御指令相成候箇条ハ夫々取繕新設或ハ増加可相成義トモ存候尤候得ハ別段是ト申所見モ無之ニ付逐一具陳不致候得共心付候内其一ニラ擔書^擔ニ御参考之一端ニ供シ候間右御領承被下度將亦税目ニ至リ候テハ最前条約御取結之際ハ総々元價ノ五分ヲ目途トシ定額税被定候式ニ存候得共追々時勢轉遷價格昂低不勘從テ當今之時價ヲ以算スル片ハ夫々税額御改正可相成ハ無論ト存候間上陳ヲ不^不要義ニ可有之候得共本港輸出品之重ナル物ノミニ付上陳致シ候此致併テ上申候也

大藏省

明治十年十月十六日

函館税関長河野通猷

関税局長吉原重俊殿

船舶出港願出ノ節積荷目録検査ノ事

新設

入港ノ際差出セシ積荷目録中該船出港ノ期ニ至リ目録面ニ塗抹セサル品名アル時ハ船司ヲ以テ其額未判然スル迄出港ヲ許サ、ルベシ

諸船舶入港ノ際積荷目録差出シ置出港ノ際右積荷目録ヲ點檢スルニ動モスレハ目録面塗抹セスレテ其実都合ニ依リ積帰ルヲ或ハ他ノ事故ナキヲ保シ難シ畢竟右積荷目録ハ右等豫防ノ為メ差出サレタルナラニ依テ本又ノ増加アリタシ

入港手数惣ル時端時間ト雖モ一日分ノ罰金ヲ拂ハレムベキ事

大藏省

澳地利交易定則 甲比丹若シクハ船司此定則ニ示シタル期第一則第五款數 限中ニ日本運上所へ其船ノ入港手数ヲ為スヲ怠ラハ右入港手数ヲ怠ル日毎ニ墨斯哥銀六拾枚ノ罰金ヲ拂フベシ但シ一日未滿及ヒ一日以上ノ端時間ノ如キ端時間モ一日ヲ以算シ一日ノ罰金ヲ拂フヘシ

先般端時閑怠ル時ハ一日ノ罰金ヲ科スヘキ指令ハアリタレト改正ノ際朱書ノ通り増加アリタシ 休日モ艙口固封ノ明文加入ノ事

全 第二則第三款數 日該ヨリ日出迄ノ間及ヒ休日ハ運上所官吏ヨリ別段ノ免許ナケレハ船ヨリ品物ヲ卸スヘカラス又貨物ヲ船ニ積込ヘカラス且ツ貨物ノ有無ニ拘ラス艙口其外船中荷物ヲ納ルヘキ場所ノ入口ニハ日該ヨリ日出迄ノ間及ヒ休日ハ日本官吏是ニ封印ヲ為シ或ハ錠ヲ鎖シ或ハ云

云

本文休日ハ艙口ニ封印シテ監吏乗勤セス然ルニ偶破封ホノ事件該日ニ起ルヲアレハ条約面ニ夜中艙口ヲ封スルノ明文ナシ故ニ苦情ヲ述ル者アリ且ツ習慣ニテ在港ノ諸船舶貨物ノ船中ニ有無ヲ問ハス夜中及ヒ休日ハ艙口ヲ固封ス若破封ノ事件アルハ船中ニ貨物ノ有無ヲ以テ苦情ヲ述ルルアリ畢竟艙口ノ固封ハ船中ニ貨物アルハ竊ニ船卸ヒンヲ慮リ船中貨物ナキ時ハ竊ニ積入レシテノ豫防ヲラン依テ朱書ノ通り加除アリメシ修復ノ為メ入港セシ船トモ貨物ヲ賣拂フヲアラハ第一則ノ手續ヲ為サシムヘキ事

全 第二則第七款 修復ヲ要スル船ハ其積荷ヲ陸揚シ得ヘシ右

大 藏 省

陸揚シタル諸品ハ日本官吏ニテ預リアルヘシ且倉敷人足賃并ニ守護ノ為メ総テ相当ノ入費ハ拂フヘシ然リトモ若荷物ノ内ヲ賣拂フヲアラハ其賣タル分ハ定例ノ運上ヲ

松ノハ勿論第一則ノ手續ヲ為スヘシ 第四則中鯨漁船困難船ノ條ニ比較スレハ朱書ノ通り更正ナカルヘカラス

仕入書持越サ、ル時ニ倍稅ヲ課スヘキ事

全 第三則第一款 荷主或ハ荷物ノ引受人荷物ヲ云ク此証各ニ其名ヲ自記スヘシ且ツ此証書ト共ニ貨物ノ仕入書ヲ差出サ、ル片ハ税関鑑定價ニ從ヒニ倍ノ稅ヲ課スヘシ 従来イニライスヲ差出サ、ル時課稅ノ節終議有之故ニ本文朱書ノ通り増加アリタレ尤イニライス追テ差出セシ片最前預リ置處ノニ倍ノ稅トイニライス面ノ

實價ニ從ヒ課スヘキ税額ト比較シ若シ過不及アルハ
 ハ不及ヲ追徴レ過ラ返戻スル等ノ處ハ總當トラス
 如何トナレハ既ニ鑑定人其評價ヲ為シ其實價ヲ得ル
 能ハルハ我鑑定人ノ不明ナリ然ルニ後日インライス
 ニ就テ尚税額ヲ換ルハ前ノ評價ハ徒為ナルモノニ似
 タリ且曩キニ預リタル税銀ノ過不及ヲ後日ニ至リ追
 徴シ又返戻スルハ自然簿記ノ錯雜ヲ生シ不都合ナリ
 故ニ總テインライスヲ貨物陸揚ノ際差出サ、ル時ハ
 其過失トシテ定額從價共ニ^各二倍ノ税ヲ課シ追テ本各
 ヲ差出スト否ヲ問ハサ、ルハ將來ノ警トナリ且ツ本
 書追テ差出スマテ貨物ノ通関ヲ拒ミ或借庫ニ預リ置
 等ノ不便ヲ醸生セル帳簿ノ錯雜ヲモ省クヘシ
 輸出入貨物^新税以前損傷アルヲ申出ル時ハ定額税品ニ從

大藏省

價税ヲ課スヘキ事^{貿易}定則中^{第四}條
 輸出入ノ貨物納税以前ニ該貨物ノ損傷アルヲ見出ス時ハ
 其旨ヲ税関ニ告ケ税関ニ於テハ該貨物ヲ検査ノ際同関
 定メテ其價直ヲ定メシテ從價税品ハ勿論定額税品ト
 雖モ從價税ヲ課スヘシ尤貨主鑑定價ヲ不相當ト思惟スル
 時ハ此定則ニ添タル條約中第八ヶ条ニ照準シ税関ニ於テ
 買上ヤレ
 貿易定則第三則第五^款ニ然リト雖モ条約第八ヶ条ニ
 載スル通り荷物ニ價付スルヲニ付運上^所官吏ヲ拒ムヘ
 カラズトアル上ハ同第四^款ノ手續ヲ為セシモノト雖
 モ不相當ト認マル時ハ税関ニ於テ第五^款ノ處不ヲ為
 ス故到底第四^款ノ評價手續ハ徒勞ニ屬ス且第四^款ノ
 文中ニ定額税品ノ損傷アルハ減税ノ處不判然セリル



故寧第四及第五款ヲ削リ本文ヲ以テ之ヲ填メハ兩款ノ處不兼テ行レ且ツ定額稅品ノ損傷アルモ減稅ノ處不判然ナラン

船用品及ヒ旅客ノ旅具トモ稅関ニ告知スベキ事

全三則第九款 船：其乗組云々運上所へ差出スヲ為スニ及ハスト虫モ稅関へ告知シ檢査ヲ受クヘシ

本港於テハ幸ニ從來ノ慣習アリテ船用品旅具トモ一ニ稅関へ告知シ檢査ヲ受ケ来レリ然リト虫モ朱書ノ文意ナキカ為メ時トシテ随意ニ積卸セントスル者アリ自然將來些少ノ箇物ニシテ高價ノ貨物ヲ船用或ハ旅具ト詐リ積卸スルノ弊害ヲ生セザルハ保シ難シ依テ朱書ノ通り増加アリタシ

船舶出港手續ヲ為サハル者ニ領事船書類ヲ返附セシ時

大藏省

ノ罰則ヲ設タキ事

新設

船舶出港スル時ハ稅関ヨリ出港手数料領收ノ証ト出港免狀ヲ船司或ハ代理人ニ渡スヘシ該船所屬ノ領事ハ右出港免狀ヲ持參セサレハ預リ置タル船書類ヲ船司或ハ代理人ニ返附スヘカラス若出港免狀ヲ持參セサル者ニ船書類ヲ返附スルトキハ領事ノ過失トス依テ何々罰金ヲ領事ヨリ拂フベシ

從來船舶出港ノ節手数料領收ノ証ヲ附與スルノミニテ別ニ出港免狀ヲ與ヘス依テ出港ノ際間ハ船司ヨリ出港免狀ヲ乞フアリ故ニ別ニ出港免狀ヲ製シ附與スル方可然諸運上拂濟ノキ拂濟ノ上ナラテハ手数料領收証又ハ出港免狀ヲ附與スルヲナキハ論ヲ待タス

金額ハ御商議ナリ

第四及第五款ヲ削リ本々ヲ以テ填メハ兩款
不兼テ行レ且ツ定額税品ノ損傷アルモ減税ノ處
然ナラン

及ヒ旅客ノ旅具ト虫モ税関ニ告知スベキ事

九款船：其乗組云々運上所へ差出スヲ為スニ及
モ税関へ告知シ検査ヲ受クヘシ

於テハ幸ニ從來ノ慣習アリテ船用品旅具ト虫モ
税関へ告知シ検査ヲ受ケ来レリ然リト虫モ朱書

意ナキカ为メ時トシテ随意ニ積卸セントスル者
自然將來些少ノ箇物ニシテ高價ノ貨物ヲ船用或

其ト詐リ積卸スルノ弊害ヲ生セザルハ保シ難シ
朱書ノ通り増加アリタレ

港手数料ヲ为サ、ル者ニ領事船書類ヲ返附セル時
ノ該タキ事

大 藏 省

スル時ハ税関ヨリ出港手数料領收ノ証ト出港免
或ハ代理人ニ渡スヘシ該船所屬ノ領事ハ右出港

券セザレハ預リ置タル船書類ヲ船司或ハ代理人
カラス若出港免状ヲ持参セザル者ニ船書類ヲ

キハ領事ノ過失トス依テ何レ罰金ヲ領事ヨリ

船出港ノ節手数料領收ノ証ヲ附與スルノミニ
出港免状ヲ與ヘス依テ出港ノ際間々船司ヨリ

免状ヲ乞フテアリ故ニ別ニ出港免状ヲ製シ附與
可然諸通上拂済トキ拂済ノ上ナラテハ手数料

証ハ出港免状ヲ附與スルヲナキハ論ヲ待タス

金額ハ御商議アリタシ

故ニ第四則第一款ノ船司運上所以下ヲ削リ本支ヲ設クヘシ且ツ偶出港手数を為サズレテ出帆ナルモノアリ其際領事ニ照會ヲ為スト雖モ到底照會ノ効ナカルヘシ故ニ本支ノ如ク該件ニ関シ罰則ノ明文ヲ設ケタシ

蒸氣飛脚船出入港手数を付何レノ時ニテモノ七字ヲ削リタキ事

全第四則第三款 澳地利及洪鳴利蒸氣飛脚船ハ同日ニ入港ト出港ヲ為シ得ベシ且日本ニ上陸スル旅客并ニ陸揚スル品々ノ外ハ告書ヲ差出スヲ要セザルベシ然リト雖モ右蒸氣船ハ出入ノ都度運上所へ入港并ニ出港手数を為ス可シ從前ノ儘ニテハ該船ニ限り税関ノ開閉ニ拘ラズ何時ニテモ手数を為シ得ベシト認めハレシ横文ハ該船ニ限

大藏省

リ同日中入出港手数を為シ得ヘキヲ并ニ該港ニ陸揚スル貨物ホノ外ハ積荷目録ヲ差出スニ及ハスト雖モ出入ノ都度必ス税関へ入出港ノ手数を為スヘシトノ趣意ナラン然ルレハ右入港手数を勿論税関中ニ入ヘキ等尤開関中手数を為ス時ハ現行ノ如ク別段謝金可拂義ナリ依テ朱書ノ通り加除可然見込

船ノ大小ヲ問ハス入出港手数を為サシムベキ事
全第四則第五款 此定則中又ハ此定則ヲ添ル條約中船ト稱スルモノハ何レノ處ニアルトモ船形及ビ噸數ノ多寡ヲ問ハス帆走船并ニ蒸氣船ヲ云フ
先般海外ヨリ渡航シ來ル船ハ五噸以下ノ小船ト雖モ入出港手数を為サシムヘキ指令アリタリ依テ改正ノ際朱書之通則正アラハ臨時紛議ヲ防クベシ

彈藥等積載ノ船舶碇泊場所ノ事

新設

彈藥及ヒ破烈質ノ貨物ヲ積載スル船ハ税関ヨリ指揮スル場所ニ碇泊スヘシ尤該船貨物陸揚船積ノ時間ハ便利ノ場所ニ一時轉スルヲ得ヘシ

内外船ニ拘ラス彈藥及ヒ破烈質ノ貨物多ク積載ノ船

港内他船輻湊中ニ碇泊スルハ損害ヲ他船ニ及スノ

懸念尠カラズ現ニ本邦ノ船右等ノ貨物ヲ積載セシハ

其高些少ト雖モ間々各領事ヨリ港外ニ碇泊可為致

ノ照會アリ若シ海外船右等貨物ヲ積載シ入港ノ節右

碇泊處外ノ明文ヲキテ以テ自然承諾セサルノ恐アリ

故ニ本文ノ設アリタレ

出港手續済ノ後貨物ヲ積卸スルハ更ニ其手續ヲ為サ

大藏省

シムベキ事

新設

船舶出港手續済ノ後更ニ貨物ヲ積入レ或ハ船卸スルハ

更ニ入出港ノ手数料ヲ拂フヘシ

本文改正ノ際増加アリタレ

船貨ト貨物ノ區別ヲキノ明文ヲ設ケタキ事

新設

條約書中及ヒ此貿易定則中船貨或ハ貨物トアルハ別ニ區別アルヲナシ

積卸等ノ手續違犯ノ者間ニハ箇物大小或ハ其数ノ多

少ニ依リ船貨ト貨物トノ區別ヲ以テ異論アルレアリ

依テ本文ヲ設ケ置キタレ

日本港場内ニテ海外人製造之船津卸シ并ニ日本人所

港則ニ入ルハ本邦
官之裁ノ趣尤他日
設ル被考依テ茲

船破泊場所ノ事

船破ノ貨物ヲ積載スル船ハ税関ヨリ指揮スル
ハシ尤該船貨物陸揚船積ノ時間ハ便利ノ場
ハルコトヲ得ヘシ

拘ラズ彈薬及ヒ破烈質ノ貨物多ク積載ノ船
幅湊中ニ碇泊スルハ損害ヲ他船ニ及スノ
ラズ現ニ本邦ノ船右等ノ貨物ヲ積載セシ片
ト至モ間々各領事ヨリ港外ハ碇泊可為致

リ若シ海外船右等貨物ヲ積載シ入港ノ節右
ノ明文ヲキテ以テ自然承諾セサルノ恐アリ
ノ設アリタレ

太藏省

後貨物ヲ積卸スル片ハ更ニ其手数を為サ

濟ノ後更ニ貨物ヲ積入レ或ハ船卸スル片ハ
手数を拂フヘシ

際増加アリタレ
ノ區別ナキノ明文ヲ設ケタキ事

此貿易定則中船貨或ハ貨物トアルハ別ニ区

手続違犯ノ者間ニハ箇物大小或ハ其数ノ多
船貨ト貨物トノ區別ヲ以テ異論アルコトアリ

ヲ設ケ置キタレ
中トテ海外人製造之船津卸シ并ニ日本人所

港則ニ入ルハキ部ナレト未ク確定セサル場所モ
有之哉、趣尤他日確定スル別ニ差洵ノ事モ
同敷ト被考依テ茲ニ載ス

2-1555

0115

新設

有ノ船ヲ買入レシキハ入港手数を為サシム可キ事

某國人日本ニテ船ヲ製造シ或ハ元海外人ヨリ買入レタル日本人所有ノ船ヲ買入レ其國ノ旗章ヲ揚ケ或ハ旗章ヲ改ムキ更ニ入港セシ如ク入港手数を為ス可シ

本港ニテ間々外國人船ヲ製造シ北太平洋等ハ航行スルモノアリ其際指令ニ基キ入港手数を促ス片異議ヲ述ルコトアリ依テ本文ヲ設ケタシ

左ノ條件貿易定則ニ移シタシ

澳地利本條約書第八條第二款 若シ日本運上所ノ官吏商人ヨリ申立シ價

ニ付異存アル時ハ其商物ニ價ヲ極メタル價ニテ買入ルトラ談シ得ベシ

全三款 若シ荷主此價附ニテ承諾セサル時ハ日本運上所官

大 藏 省

吏ノ極メタル價ニ從テ其税銀ヲ收ムヘシ若シ其價附ニテ承諾スル時ハ其談セシ價ヲ少シモ減スルトナク直ニ荷主ニ拂フヘシ

全九款 澳地利及洪噶利ノ商人ハ日本ノ開港場へ商物ヲ輸入シ其租税ヲ納メシ上ハ日本運上所長官ヨリ其商稅收メ済ノ證書ヲ請ヒ得ヘシ且ツ此證書アラハ右商物ヲ再ヒ日本他ノ開港場ニ出入スルトモ亦商稅ヲ納ムルニ及ハサルベシ

全十一款 第二款 海外商人日本ノ産物ヲ日本ノ或ル開港場ヨリ他ノ開港場へ輸送セント欲スル時ハ其品物ヲ輸出スル時拂フヘキ運上ヲ運上所へ預ケ置ヘシ六十日以内ニ他ノ開港場へ右荷物ヲ陸揚セシ趣ヲ示セル證書ヲ其地ノ運上所ヨリ持參セハ右預リ置タル運上ハ無異論速ニ返却ス

全
第十一條第三款 他邦ノ港へ輸出スルヲ禁スル品物ハ万一
右期限中ニ前條ノ証書ヲ差出サ、ル片ハ荷積セシ者自ラ
右品物ノ代價ヲ残ラス日本役人ハ拂フベキ趣ヲ認タル証
書ヲ差出スベシ

全
第十一條第四款 然リトモ、モ其船若シ或ル開港場ヨリ他ノ
開港場へ運送スル航海中破船スルヲアラハ右運送先ノ運
上所ノ証概ノ代リニ破船セシト云フ証據ヲ別ニ持来ルハ
レ尤商人ハ右証據ヲ六ヶ月ノ内ニ差出スベシ

全
第十一條 澳地利及洪噶利海軍備ノ諸品ハ日本國ノ諸開港
場へ陸揚シ澳地利及洪噶利官吏ノ保護スル倉庫ニ藏メ置
ヘレ尤夫カ為メ租税ヲ納ムルトナレトモ若シ此備用品
ヲ日本人或ハ外國人ニ賣ルヲアラハ其買主ヨリ相當ノ租

大藏省

税ヲ日本長官ニ納ムヘシ

右條件中第十一條第三款第四款共現今ニ至テハ御國
内開港場間漁船或ハ郵便ニテモ往復六十日ヲ費ス
ナレ従前ノ六ヶ月或ハ一年ノ期限ハ現今之實地ニ
悞ハス且帳簿ノ不便ヲ生ス故ニ六十日ト六ヶ月ニ更
正シテ可ナラン

輸入税則ノ部

第七十一

赤黒砂糖

定額 百斤ニ付〇四

第七十二

白砂糖

全 全 〇七五

本文砂糖ノ品位區別ニ付往々議論アリ赤白區別ノ為
 先般兩種ノ表準トナスヘキ物各税関ヘ下付ナリシ
 ト雖モ年月ヲ經右表準トスヘキ物モ光線等ノ為メ如
 何變化スルモ難計到底收税上於テ白砂糖ナキニ至ル
 ヘシ依テ右三種以來定額税ヲ廢シ従價税ニ致シタル

大藏省

○ケニトセリニ當ル併シ些少ノ差トニ付税則ハ従前ノ儘据置度見込

第三十二

刻昆布

全 全 ○六ト

前同断元價百斤ニ付九ケハトニ當ル此税額○ケ四ト九リニ當ル依テ前同断従前ノ儘据置度見込

第三十五

贛籍

全 全 一ケハト

該品元價追々騰貴イタレ前同様平均スルキハ百斤ニ付元價七拾八ケニ當ル前同様税額三ケ九トトナル依テ税則三ケ九トトイタレ度見込

第四十六

硫黄

全 全 ○三ト

大藏省

該品元價追々低下レ前同断平均スルキハ百斤ニ付元價四ケニ當ル此税額○ニトトナレモ従前ノ通り据置度見込

